

北海道議会時報

第34巻第7号

昭和57年第3回定例道議会

北海道議会事務局

北海道議会時報第34巻第7号(昭和57年第3回定例道議会)

(表紙写真説明)

洞 爺 湖



米村邦敏議員逝去

議員米村邦敏氏(社会、網走支庁選出)は、9月4日午前11時、急性心不全のため、札幌医科大学附属病院において逝去され、9月11日、温根湯スポーツセンターにおいて告別式が執り行われた。行年49歳。

なお、9月29日、第3回定例会本会議において、青山正男議員(自民、網走支庁選出)から追悼演説が行われ、次いで、全員起立のうえ黙禱が捧げられた。

追 悼 演 説

米村邦敏君の御逝去を悼み、北海道議会を代表し、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

5月19日、決算委員会の準備に余念のなかったあなたに、予想だになかった暗い運命が待ち構えていました。

突然の病魔に襲われ、その場に倒れた異常な事態に、同僚議員の、医者をも、救急車をと叫ぶ中で、あなたは頭を持ち上げ一点を凝視しながら虚空をつかむしぐさをしたとお聞きしております。あなたは一点を凝視しつつ、一体、何をつかもうとしていたのでありましょ

うか。
過ぎし49年の生涯の中で、意識を失いつつあるその瞬間、あなたの脳裏に去来した万斛の思いを推察するとき、そしてまた、あなたの数々の御事績をしのぶとき、悲愁切々として胸ふさがるものがあります。

そして、以来百日余、肉親の必死の御看護と多くの方々の祈りと願いもむなしく、9月4日、49歳のいまだなお多くの春秋を残しながら、ついに帰らざる人となりました。まことに痛恨哀惜にたえざるものがあり、人生の無常に慟哭を禁じ得ません。

あなたの北海道議会議員としての在職期間は必ずしも長いものではありませんでした。しかし、30年にわたって従事し研鑽を積まれた林業の分野においては、道議会にあって比肩する者なき権威であったと言っても決して過言ではありません。

あなたは、所属する文教林務委員会、北方領土対策特別委員会においてはもちろん、本会議、予算、決算、冷害等の委員会を通じ、道行政の各般にわたり質問されましたが、やはりそれは林業問題において圧巻でありました。なかんずく林業のあるべき姿、林政かくあるべきという基本論議における提言は、まさに林業の泰斗にふさわしい卓見であり、本道林政上にひとときわ明るい光芒を放つものとして私どものひとしく畏敬してやまないところであります。

「議政壇上に斃るるは男子の本懐なり」とか申します。決算委員会のさなかに倒れたあなたの御逝去は、政治家として、まさに劇的であり象徴的でありました。

しかし、志半ばにして倒れたあなたの胸中を思い、また、かつての団欒を夢見たであります。御遺族の御心中を察するとき、痛恨の念、新たなものがごさいます。

熊本県で生まれ育ったあなたは、県立矢部農林高等学校で学ばれた林業、とりわけ北国の森林の美しさと豊かさに魅せられ、遠くこの北海道を希望し、北見営林局を振り出しに斜里、留辺蘂営林署に奉職されたあなたは、その現実の体験の中から林業の重要さ、むずかしさを学ぶと同時に、現実の厳しさを体得しつつ大衆運動を志されました。指導者としての資質は天性のものがあったのですが、これに加え、強い者には立ち向かっていく精神、そして弱い者には親身になって力をかしていこうとするやさしい心、そしてまた、目的に向かっては万難を排して努力し精進するあなたのお人柄は、多くの人々から慕われ信頼され、大きく期待されるところとなりました。組合活動の要職を歴任される中で、あなたは多くの人々の期待に沿い、信頼にこたえてさまざまな難問を手がけ、解決に導き、北見、網走地方はもちろん、北海道労働運動の歴史に大きな足跡を残されたのであります。

こうしたあなたのお人柄と数々の事績は、去る11日の葬儀に際し、全道各地からはせ参じた多くの方々と参会者、皆涙し、あなたとのお別れを惜しんだことがすべてを物語って余りあるところであります。

議会、党、組合、そして地域と多面的な活動に挺身され、まさに東奔西走の毎日を送られたあなたは、昨年1カ月にわたり病の床に伏されました。しかし、持ち前の強い精神力でこれを克服し、空白の時間を取り戻すんだと言って、以前にも増して意気盛んなところを見せていたあなたでしたが、遺憾ながら一年に満たずして無常の運命にその生涯を終えられるところとなってしまいました。選挙カーの中から手を振り健闘を約したあの日焼した顔、細い目の子供のようにかわいらしい笑顔、そして望洋として大きさを秘めた顔立ち、そのあなたはもうおりません。ただただ、生前の面影をしのびつつ、数々の事績を追慕し、御冥福をお祈りするのみであります。

米村さん、永遠に安らかに眠りください。

さようなら。

影山 豊議員逝去



議員影山豊氏（社会、胆振支庁選出）は、9月28日午前9時48分、急性骨髄性白血病のため、東京都内・目黒厚生中央病院において逝去され、10月1日、厚真町総合福祉センターにおいて、告別式が執り行なわれた。行年58歳。

なお、10月5日、第3回定例会本会議において、高橋康之議員（自民、胆振支庁選出）から追悼演説が行われ、次いで、全員起立のうえ黙禱が捧げられた。

追 悼 演 説

北海道議会を代表して、ここに影山豊議員の御逝去に心から哀悼の意を表し、謹んで追悼の言葉をささげます。

9月28日の朝、その日は、あたかも晩秋を思わせるような冷やかな風が前夜の驟雨を残して暗くよどんでおりました。このとき、影山先生逝くの報に接し、ただただ暗然として天を仰ぐのみでありました。

影山先生が死んだ、あの影山先生が。その瞬間、私の脳裏をあなたとの数多くの思い出が駆けめぐりました。

あの大きな体を少し背を丸めて歩かれる姿、何とも言い知れぬ穏やかな笑顔、しかし、政治家影山豊として、ふるさと胆振を、郷土北海道を思い、憂いた質問では、あるときは怒気を放ち、あるときはじゅんじゅんとして説き、聞く者をして納得せしめ、魅了したものであります。

あなたは、道議会議員としての大先輩であるばかりでなく、1人の人間として非常に魅力ある、すばらしい方でありました。

いまここに、あなたのあり日をしのび、あなたの歩まれた道をいまたび思い起こさせていただきます。

あなたは、3歳にしてお父さんを亡くされ、お母さんとともに祖父のもとで農業に従事し、後、国鉄に就職をし、戦後、労働者の生活向上と権利確保のため組合運動をされておりましたが、お母さんが急病のためふるさと厚真町へ帰り、母校の教師として情熱を燃やされました。

故郷にありましても、あなたの誠実にして卓越した行動力と将来を見通したその識見に対し、多くの農村青年の期待を一身に担い、弱冠26歳にして町議会議員に当選されたのであります。

爾来、3期連続当選をせられ、昭和42年4月には日本社会党公認として道議選に出馬し、初当選されました。それ以来今日まで連続四期、15年余にわたり管内多くの方々の超党派としての力強い御支援をいただいてまいりました。

そのことは、ひとえに、あなたの豊富な生活体験を通して培われた包容力、人の心の痛み

のわかる人間愛に満ち満ちたものであり、議会活動にありまして、商工労働委員長を初め、予算、決算特別委員長など、要職のほとんどを歴任するとともに、党にあっては、政策審議委員長、議員会会長という重責につかれ、従横無尽の大活躍をされました。

特に、有珠山の噴火により打ちひしがれた住民の一日も早い安堵と地域の復興のため、住民の先頭に立ち、汗だくになって関係省庁を回り、ほおを紅潮させ、熱弁をふるって要請を続けたときの姿など、あなたの活躍に対し私も心からの喝采を送り、王道を歩む大先輩を誇りとしてまいりました。

人生、苦しみの多くあることをだれよりもよく十二分に承知されているあなたに、突如として社会福祉法人厚真福祉会の問題が提起されました。責任感旺盛なあなたは多くを語らず、みずからの責任として潔く議員会の会長を辞任し、なおかつ、無所属議員としての苦渋を味わわれたのであります。

私があなただけの部屋をたびたび訪ねましたときにも、本当に苦しい立場にあったあなたが、「康ちゃん、子供のためにも、お母さんのためにも、そして、何よりも政治家として後顧の憂いなく懸命に働くことのできる家庭を一日も早くつくりなさい。」と、あなたは御自分の体験談をも聞かせてくれましたね。そして、「僕も絶対負けない。僕を信じ、力強い声援をしてくださる管内多くの方々のためにも、なおまた、僕を信頼している妻や子供たちのためにも絶対に負けられないんだ。」と力強い握手をしたあなただったのに……。

56年12月16日、私は、社会党議員室へ駆け込み、「先生、よかったですね。本当によかったです。」とあなたの両の手を握り締めました。それは、あなたが待ちに待った社会党への復帰がかなった日であります。

しかし、そのとき、あなたの口から出た言葉に私は背筋の寒くなるのを覚えました。

「康ちゃん、ありがとう。医師からも、白血病という病気であって、これだけ元気になったのは奇跡だと言われているんだよ。自分の政治生活の晩節をこのままで終わらせたくない、何としてもがんばり抜くからね。」

9月1日に北野病院へ入院されたあなたの容体は承知しておりましたが、あなた自身の口から病名を告げられたその驚きと戸惑いのうちに力強い握手となりましたが、あなたから力強く返されました。

以来、あなたの懸命の闘病生活が続いておりましたが、私たちは、いかにむずかしい病であっても、あなたに限っては、不屈の闘魂に満ちた影山先生に限ってはと、一日も早い回復をお祈り申し上げておりましたのに……。

過日、「康ちゃん、公認を辞退したよ。管内のことよろしく頼むね。」と言われたときの言い知れぬさびしさ。

また、あなたは看病に当たられる奥様をいたわり、中学3年生のお嬢さんを掌中の玉といとしむやさしさと思いやりにあふれる夫であり、父親でありました。私は、その家族愛の深さとあなたの心情を思うとき、胸ふさがる気持ちでいっぱいあります。

人生とは時としてきわめて非情であり、運命とは、まことに過酷であります。忌まわしい急性骨髄性白血病という、現代医学の粋をもってしても、御家族の祈りを込めた手厚い看護もむなしく、9月28日午前9時48分、大衆政治家影山豊先生は、万感の思いを残しつつ、御家族を初め、多くの人々の慟哭と悲嘆の中で静かにその生涯を終えられたのであります。

後に、私たちは、あなたが闘病生活の中で詠まれた数多い歌を拝見し、人としての生きざまを教わり、あなたの遺訓としてしっかりと胸に刻みつつ、道政進展に努めてまいりたいと存じます。

看病の妻の寝顔もやせ細り

夜半の目覚めに春嵐きく

病む父に修学旅行の土産にと
長寿箸をば娘が買いて来ぬ
笑まいつつ公認辞退を語れども
胸の奥より涙湧き出ず
笑まいつつ公認辞退を語れども
胸の奥より涙湧き出ず
崩れゆく夢よとどまれいま一度
社会の嵐にわれを立たしめ
崩れゆく夢よとどまれいま一度
社会の嵐にわれを立たしめ

影山先生、願わくば、御仏のもとにあっても、なお北海道の発展にお力をおかしいただき、
残された御家族や私どもにぜひ御加護あらんことを心からお祈り申し上げ、北海道議會を代
表して、お別れの言葉といたします。

影山豊先生、安らかに眠りください。

……第7号もくじ……

第3回定例会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	14
意 見 案	16
請 願・陳 情	20

委員会 の 動 き

議会運営委員会	24
常 任 委 員 会	30
特 別 委 員 会	38

総合開発調査特別委員会
石炭対策特別委員会
北方領土対策特別委員会
公害対策特別委員会
予算特別委員会
企業会計決算特別委員会

会 合

全国都道府県議会議長	50
都道府県議会議員共済会	51
10都道府県議会議長会	51

10月・11月のメモ

議 会 日 誌

▶ 9 月

28 日（火） 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、公害対策特別各委員会

29 日（水） （第 3 回定例会開会）

議会運営委員会

本会議（会期決定＜24 日間＞、提案説明、前会より継続審査の企業会計決算認定、意見案 1 件可決）

▶ 10 月

5 日（火） 議会運営委員会

本会議（代表質問＜2 人＞）

6 日（水） 議会運営委員会

本会議（代表質問）

7 日（木） 議会運営委員会

本会議（日程延期）

8 日（金） 議会運営委員会

本会議（代表質問＜1 人＞）

9 日（土） 議会運営委員会

本会議（代表質問＜1 人＞、一般質問＜1 人＞）

13 日（水） 議会運営委員会

本会議（一般質問＜2 人＞）

14 日（木） 議会運営、総務各委員会

本会議（一般質問＜2 人＞）

15 日（金） 議会運営委員会

本会議（一般質問＜2 人＞）

16 日（土） 議会運営委員会

本会議（一般質問＜1 人＞）

18 日（月） 議会運営委員会

本会議（一般質問＜3 人＞、特別委員

の補欠選任、予算特別委員会設置）

予算特別委員会（正副委員長の互選、予算第 1・第 2 各分科会設置） 予算第 1・第 2 各分科会（正副委員長の互選）

19 日（火）

20 日（水）

21 日（木）

22 日（金）

議会運営委員会

予算第 1・第 2 各分科会（各部所管審査）

本会議（会期延長＜1 日間＞）

23 日（土）

議会運営、各常任、石炭対策、北方領土対策、公害対策各特別委員会、予算第 1・第 2 各分科会（各部所管審査）予算特別委員会（総括質疑、意見調整）

本会議（各委員長報告、修正案否決、補正予算等可決、追加提案説明、教育委員会委員、公安委員会委員、人事委員会委員、取用委員会委員、公害審査会委員選任同意、意見案 5 件可決、請願・陳情審査）

（第 3 回定例会閉会）

25 日（月）

各常任委員会

▶ 11 月

5 日（金）

厚生、水産各委員会

8 日（月）

商工労働委員会

9 日（火）

総務、農務、建設、農地開発、文教林務、石炭対策特別各委員会

26 日（金）

文教林務委員会

30 日（火）

厚生委員会

第3回定例会

224 億 3600 万円余の補正予算可決

▶ 景気浮揚・北炭夕張新鉱対策について論議 ◀

概 要

- ① 第3回定例会は、9月29日招集され、会期を10月22日までの24日間と決定の後、総額217億5100万円余の補正予算並びにこれに関連する議案等が上程され、知事から提案説明。次に、前会から継続審査中の昭和56年度企業会計決算について、企業会計決算特別委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも認定議決又は意見を付し認定議決。次に、昭和57年産畑作物価格等に関する要望意見案を可決し、議案調査のため9月30日から10月4日まで5日間休会した。
- ② 休会あけの10月5日から代表質問に入ったが、日高山脈襟裳国定公園の指定に伴う日高中央横断道路の環境影響評価の取り扱いをめぐる審議が中断したが、8日には軌道に乗り、知事から北炭夕張新鉱対策に関する報告があって代表質問を継続、翌9日にこれを終え、同日一般質問に入った。15日には、北炭夕張新鉱の閉山対策に係る補正予算が追加提出され、知事から説明、18日に至り一般質問を終結して、31人からなる予算特別委員会を設置の上、議案の各委員会付託を行い各委員会付託議案審査のため10月19日から21日まで3日間休会した。
- ③ 予算特別委員会は、10月18日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置し、翌19日から補正予算等に対する各部所管審査に入り、23日に各分科会における質疑を終結、同日各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、直ちに意見調整に入ったが意見の一致を見るに至らず、社会党から昭和56年度一般会計補正予算に対する修正案が提出され、採決の結果、これを否決し、知事提案をいずれも原案のとおり可決した。
- ④ 本会議再開日の22日は、会期を23日まで1日間延長することに決定。会期最終日23日は、昭和57年度補正予算等に対する予算委員長報告及び各付託案件に対する各委員長報告の後、社会党提出に係る昭和57年度一般会計補正予算に対する修正案の趣旨説明があって、採決の結果これを否決、知事提案について討論、採決の結果いずれも委員長報告のとおり原案可決。次いで、教育委員会委員の選任同意等の人事案件について、採決の結果、いずれも同意議決。次に、中小企業事業承継税制の創設に関する要望意見案ほか4意見案を可決し、閉会中請願・陳情継続審査及び事務調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件はすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来25日目の10月23日午後8時27分閉会した。
- ⑤ 提出案件の処理状況は次のとおりである。

提出者	提出案件	処 理 の 状 況							計
		原案可決	否 決	意見を付し 認定議決	認定議決	同意議決	報告のみ		
知 事 議 員 計	21	15	0	—(6)	—(1)	5	1	21(7)	
	7	6	1	—	—	—	—	7	
	28	21	1	—(6)	—(1)	5	1	28(7)	

注 カッコ内は、継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

本 会 議

○9月29日（水） 午前10時9分開議、松浦義信議長、昭和57年第3回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、青山正男議員（自民）から、故米村邦敏議員（社会）の逝去（9月4日）に対する追悼演説の後、全員起立のうえ、黙禱を行った。議事進行の都合により午前10時20分休憩、午前10時59分再開。次いで、議長から、影山豊議員の逝去（9月28日）について弔意を表した旨報告があり、10月5日の本会議において故影山豊議員（社会）に対する追悼演説を行うこととした。次に、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を、本日から10月22日までの24日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第14号を議題とし、知事から、提出議案に関する説明。

日程第4 前会より継続審査の報告第61号ないし第67号を議題とし、星野健三企業会計決算特別委員長（社会）から、委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、川崎守議員（共産）から、議案第64号ないし第67号に関する反対討論があつて討論終結。

次いで、採決に入り、報告第64号ないし第67号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告（報告第64号ないし第66号は意見を付し認定議決、報告第67号は認定議決）のとおり認定議決。

次に、日程第4のうち、報告第61号ないし第63号を問題とし、いずれも異議なく委員長報告のとおり意見を付し認定議決。次に、

日程第5 意見案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。

次いで、議案審査のため9月30日から10月4日まで休会、10月5日再開することに決定して、午前11時25分散会。

企業会計決算特別委員長報告

ただいま議題となりました前会より継続審査の昭和56年度北海道各事業会計決算にかかわる報告第61号ないし第67号の7件につき、その審査経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、去る7月8日に設置され、直ちに正・副委員長の互選を行うとともに、委員会運営の方法などを決定し、その後、7月15日の委員会において理事者から決算概要について、監査委員から決算審査意見について、それぞれ説明を聴取するとともに、8月10日、11日の両日には、関係事業について現地視察を行い、さらにまた、審査に必要な42項目の資料の提出を受け、決算内容等の調査を行ったところであります。

次いで、8月18日から関係各部局所管の審査に入り、8月25日をもって一切の質疑を終了した次第であります。

以下、関係部局所管ごとの質疑を通じ、論議の対象となりました主な事項を申し上げますと、

林務部所管においては、

道内森林の歴史的な所有区分経過と現状認識及び今後の取り組み方、道有林野事業に関し、道有林基本計画における造林事業の達成状況、林産物販売及び造林請負事業における契約方法、道有林野事業会計制度のあり方、経営の現状認識と将来展望、企業債の発行と償還の見通し、道有林野所在市町村交付金及び繰出金に対する考え方などに関する諸問題。

企業局所管においては、

電気事業に関し、道営発電事業の意義、売電原価算定の考え方と中小水力発電の開発に対する見解、工業用水道事業に関し、工業用水料金値上げに当たっての通産省認可に対する見解、石狩湾新港地域における工業水道事業の現状と工業用水等の水源確保に対する今後の見通しと対応策、有料道路事業に関し、企業債及び一般会計等長期借入金の返済状況と有料道路の無料開放への今後の取り組み姿勢、工業団地開発事業に関し、工業団地における経営上のメリット、住宅団地の買収と売却の実績、国有地の売却経過と今後の見通し及び工業団地開発事業の今後の基本的方針、企業局技術系職員の格づけに関する改善策な

どに関する問題。

衛生部所管においては、

道立病院の経営に関し、医療法に基づく医師の定数と配置数及び現員との関連、道立病院の設置目的と現状認識、松前並びに静内病院等の位置づけと将来構想、地域センター病院における一般病床利用率低下の原因と今後の方針、北野病院の位置づけ及び利用状況等の現状分析と今後の方針、江差病院の精神科設置に対する考え方、道立病院事業会計の赤字発生の原因と累積赤字解消の積極姿勢などに関する問題。

住宅都市部所管においては、

北広島団地開発事業に関し、団地開発事業の遅延及び計画変更についての基本的見解、住宅処分の遅延に伴う金利加算による土地価格の値上がりに対する考え方、大麻団地等企業会計の閉鎖と残地の処理状況、今後の事業計画と資金計画の内容及び施設整備に対する取り組み方

などに関する諸問題について、各般にわたり活発な論議が交わされた次第であります。

質疑終結後、各派代表者間において意見の調整を図りました結果、8月25日の委員会において、全会一致、報告第67号は、認定議決、報告第61号ないし第66号については、次に申し上げる意見、すなわち、

報告第61号については、

1. 各病院ごとの性格づけをより明確にし、もって地域の医療需要にこたえるために診療科目の設置拡大などの体制整備を促進し、道立病院としての機能強化を図るべきである。
2. 医療従事者、特に医師の確保定着に努めるとともに、遊休病床の解消など、病床の効率的運用を図り、道立病院としての使命にこたえ得る体制の強化を急ぐべきである。

報告第62号については、

1. 道有林野事業における収支の状況にかんがみ、一般会計繰出金及び市町村交付金について検討すべきである。

報告第63号については、

1. タウンセンターの見直し、公共用地とし

ての活用及び金利負担の問題などのほか、一般会計との関係について抜本的な見直しを早急に検討すべきである。

報告第64号については、

1. 近年のエネルギー情勢にかんがみ、道においても中小発電事業を積極的に推進すべきである。

報告第65号については、

1. 石狩湾新港における工業用水の水源の確保について早急に検討すべきである。

報告第66号については、

1. 借入金解消の対策を早急に進め、早期に無料化体制を確立すべきである。

以上の意見を付し認定すべきものと決定した次第であります。

この間、委員各位には、終始、慎重かつ御熱心に審議を尽くされ、その御苦勞に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

○10月5日（火） 午前10時11分開議、諸般の報告の後、高橋康之議員（自民）から、故影山豊議員（社会）の逝去に対する追悼演説の後、全員起立のうえ、黙禱を行って、議事進行の都合により午前10時26分休憩、午前11時8分再開。

日程第1 議案第1号ないし第14号を議題とし、代表質問に入り

中崎 昭一議員（自民）から、

- ① 景気浮揚対策に関し、本道経済不況の実態と対応、当初予算の景気対策に対する効果、国の景気対策予算に対する働きかけの考え、景気関連予算の適切な執行方
- ② 農業問題に関し、農政審議会報告「80年代の農政の基本方向の推進について」の本道農業の将来展望に対する受けとめと対処の考え、雑豆・牛肉の自由化問題に対する認識と対処方、本年度畑作物価格決定に対する適正価格実現の努力方
- ③ 老人保健法施行に伴う老人保健医療対策に関し、市町村の保健事業実施体制の整備強化の対処策、保健婦の養成確保と保健所機能強化への取り組み方、現在実施している道老人医療給付特別対策事業の継続等取り扱いの考え

- ④ 北炭夕張新炭鉱問題に関し、労務債処理のための道への用地買取要請に対する所見
- ⑤ 家庭用灯油問題に関し、円安為替差損対策の所見、灯油高騰に対応した低所得者への特別生活資金制度改善等の対策
- ⑥ 水産問題に関し、秋サケの質的向上の対策、さけ・ます資源増大計画の基本的考え方、漁港等の整備促進の所見、ホタテガイ漁業の貝毒・養殖種苗供給体制の確立等への対処方
- ⑦ 公共事業の執行に関し、年度当初の工事施行による年間発注の平準化と特例制度検討の考え、余裕ある工期設定の制度適用拡大の見解、中小建設業等業者に対応する工事の早期発注に対する所見、災害復旧工事の査定前着工による早期完了についての見解、現行制度改善による復旧期間短縮の考え
- ⑧ 企業誘致に関し、受け入れ体制の整備・新設等による積極的活動促進の考え
- ⑨ テクノポリスの建設促進に関し、函館地域テクノポリスの基本的考え、基本構想における学術研究機能整備の対応策
- ⑩ 日本船舶振興会及びB&G（ブルーシー・アンド・グリーンランド）財団に関し、道に対する助成・援助の実績及び貢献に対する考え、B&G財団建設の体育施設の運営管理に対する教職員団体の抗議についての関係者等の受けとめと財団に対する対処策
- ⑪ 職業教育の振興に関し、現状の認識と学習内容・教育方法の改善策、今後の教育推進の考え、中学校における進路指導のあり方
- ⑫ 道職員のストライキと庁舎管理に関し、争議行為に対する考えと対策、ビラ張り等の行為に対する庁舎管理の考え
- ⑬ 防衛問題に関し、国土防衛に対する基本的考え、自衛隊に対する道としての対応のあり方、愛国心及び防衛意識に係わる教育の状況等について

質問があり、知事及び教育長から答弁があって、議事進行の都合により午後零時46分休憩、午後2時10分再開。次いで、

小田原 要四蔵議員（社会）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、泊原発の電調審に対する知事意見書提出時期の適否の考え、任

期終了時における資産公開の意思の有無、外務公務員の道派遣制度の知事任期終了後における存廃の考え、北方領土問題の一般論的存在のあり方及び国連へアピールする意義、国際世論による解決方法が当事国との関係改善に与える影響、領土問題アピールに当たっての基本的態度、アピールする各国代表の選択方法、来春の選挙において地方公務員法に触れた場合の職員への対処策、道の補助金を受けている団体等が後援活動を行った場合の対処方、支庁長等の地位利用による後援会員勧誘行為の公選法抵触の有無、知事の国政選挙立候補についての新聞報道の真意、日高中央横断道路の環境影響評価の再実施の有無と55年の確定との関係及び環境影響評価審議会に諮る理由と手順、千歳基地に配備のF15と関連演習についての事前承知方

- ② 経済・財政問題に関し、今回の景気対策予算の位置づけ、これまでの公共事業・災害復旧事業等の本道経済に及ぼす影響の分析・評価の内容、国の景気対策に対する道の対応と道経済の展望、今回の景気対策の波及効果に対する見解、地域別景気動向等の関連における事業への配慮の所見、人事委員会勧告制度の基本的認識、今年度の勧告時期の見通し、給与改定の景気に及ぼす影響についての基本的認識
- ③ 道発展計画に関し、事業点検結果を58年1定に報告する意思の有無、国の長期エネルギー見通しと石油備蓄計画及び省エネルギー政策との関係における将来展望の基本的見解、苫東石油備蓄基地建設の具体的見通し、重化学工業の本道における展望と本道の高度化政策構想の考え、道開発計画におけるテクノポリス建設計画の位置づけ、国立大学設置の内容及びテクノポリス建設構想との関連性、テクノポリス建設構想と既存公的試験研究機関との有機的結合等の考え及び企業誘致の方策、テクノポリス建設の積極的取り組みの見解
- ④ 農業問題に関し、長期的視点に立った農業発展の見解と方策、生産・加工・流通の一貫した施策の考え、農政審議会の報告における大規模経営・生産性向上・コスト引き下げ等

の展望に対する小規模農家・兼業農家の就労問題等についての対応、牛肉・雑豆等の輸入枠拡大・自由化問題に対する見解と対策、てん菜・パレイショ・大豆の販路確保と適正価格実現に向けての見解と対策

- ⑤ 漁業問題に関し、さけ・ます資源増大第7次計画における地域格差是正に対する見解、各海区の施設整備・稚魚放流施策の考え、岩内郡・泊漁協等における漁業補償金等の配分のあり方に対する見解、北電と岩内郡等4漁協との漁業施設の振興資金に対する協議状況
- ⑥ 北炭夕張問題に関し、失業者の雇用確保と安定に対する具体的対策、地元商工業者の制度融資による借入金の救済策の見解
- ⑦ 道民生活に関し、行政改革大綱の基本的受けとめ、道・市町村独自の老人医療無料化制度の意義と道老人医療給付特別対策事業の継続の考え、老人保健法施行に伴う医療費の一部負担を無料化する考え、64年国体施設整備における市町村の過重負担回避の必要性、江差町ヨット競技場の汎用的後利用への配慮の考えと発展計画における青少年育成野外活動施設整備との関連性、家庭用灯油小売価格の5・8月の値上げの妥当性についての考えと価格抑制対策の効果、灯油価格高騰に伴う福祉対策としての給付制度への取り組み方、灯油小売の隔週調査公表価格が実勢価格より高かった経緯と公表価格は正までに与えた影響についての考え、道民生活安定条例による価格安定指導の価格調査の方式
- ⑧ 教育問題に関し、2定の教科書検定に係わる質疑の経緯と国際的教科書検定問題及び沖縄・ウタリ協会からの申し入れ等の現状に対する見解、道選出国會議員及び前知事の発言が国際的信義に与える影響についての見解、教科書問題の児童生徒に与える影響と対応、道立旭川美術館の性格・作品購入等の方針及び運営のあり方に対する見解、地方美術館建設計画大綱の考え、養護学校の就学猶予・免除児童を無くする考え、義務教育である訪問教育が特殊教育の経験のない非常勤講師で行われている状況と訪問回数の少ない実態及び学級編制のあり方に対する見解、学齢超過障害者の教育保障の対策

- ⑨ 公安行政に関し、覚せい剤汚染に対する広域的取り締まりの対応状況と覚せい剤使用者の推定に対する検挙数の明示等成果の把握方法改善の考え、少年層への覚せい剤浸透の背景と対策、覚せい剤乱用防止のための薬物乱用防止対策北海道推進本部の啓発活動等運営の実態と具体的措置、高校生の2輪車運転事故に係る運転免許取得や車両運転の禁止等の規制による効果の疑問、規制によらない安全教育等積極的な指導による対応策の見解等について

質問があり、知事、選挙管理委員長、人事委員長、教育委員長、教育長及び警察本部長から答弁。午前4時33分延会。

○10月6日（水） 午前10時40分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第14号を議題とし、代表質問を継続、知事から10月5日の本会議における小田原要四蔵議員（社会）の質問に対する補足答弁の後、小田原議員から再質問、知事から答弁準備に時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により午前11時26分休憩、午後2時58分再開。知事及び教育長から答弁の後、岩崎守男議員（社会）から議事進行発言があって午後3時28分休憩、午後4時43分再開し、直ちに延会。

○10月7日（木） 午後4時41分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して直ちに延会。

○10月8日（金） 午前11時53分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第14号を議題とし、代表質問を継続、知事から10月6日の本会議における小田原要四蔵議員（社会）の再質問に対する補足答弁の後、小田原議員から再再質問、知事から答弁。議事進行の都合により、日程第1の議事を中止し、

北炭夕張新炭鉱対策に関する知事の報告があり、議事進行の都合により午後零時9分休憩、午後4時22分再開。次いで、日程第1の議事を継続し、日程第1に係わる代表質問を継続。知

事から、休憩前の小田原議員（社会）の再再質問に対する答弁訂正について発言の後、

小野 秀夫議員（道政）から、

- ① 不況対策と雇用問題に関し、特定不況対策4法の適用期限延長の国への働きかけ及び特定不況地域等の追加指定とこれら地域における中小企業の経営安定に対する所見、工業再配置法に基づき室蘭市を誘導地域指定とするよう国へ働きかける考え、景気対策予算の特定不況地域等への傾斜配分考慮の見解と国の景気対策予算の本道景気に資すべき対処方、雇用情勢の見通しと雇用確保対策についての考え、明年3月の学校卒業生就職対策の対処方、女子高卒者の求人開拓・職業訓練の拡充や科目の検討等の対策についての見解
- ② 夕張新鉱問題に関し、夕張市の財政状況と特別な支援措置に対する考え、夕張地域の振興方策の考え及び今次補正予算における措置方、夕張新炭鉱閉山対策の今次補正予算処置の考え、ヤマの再開についての国へ対する要請の考え、夕張炭鉱病院の市移管に対する道の対応、閉山に伴う緊急な就労対策事業経費措置についての国への働きかけ、新鉱関連企業と商工業者に対する指導援助体制の考え、幌内炭鉱の経営状況と三笠市財政への影響の把握状況及び指導援助等地域振興対策
- ③ 国鉄ローカル線の廃止問題に関し、対象8線区の特定地方交通線対策協議会開催の状況と協議会に臨む道の考え方
- ④ 老人医療給付特別制度に関し、老人保健医療制度の発足に伴う市町村給付制度実施に対する道の具体策提示の時期
- ⑤ 国家公務員の給与凍結に関し、その受けとめ方、道職員の給与改定を人事院勧告と同じ内容で行った場合の所要額及び財源としての国庫負担金の額、給与制度の見直し措置及び行政経費の節減に対する考え
- ⑥ 灯油価格に関し、価格の高騰に対する対策と共同購入についての指導状況、共同購入価格と小売価格との差額、特別生活資金貸付制度の限度額改定等の措置に対する考え
- ⑦ 苫東の石油備蓄基地に関し、石油需要の停滞による民間備蓄会社の計画変更等の状況を踏えた建設推進についての受けとめと対処方

- ⑧ 全天候多目的スタジアムの建設に関し、取り組みの姿勢、運営検討委員会中間報告における経営上プロスポーツ等の定期的開催の不可欠性・調査の必要性の指摘に対する調査結果と今後の対応の考え

- ⑨ 交通事故対策に関し、本道における交通事故の特質とその対策、安全教育・指導による交通事故対策の見解

- ⑩ 警察行政に関し、捜査の基本的あり方と個人の自由及び権利の尊重に対する見解と捜査の実状等について

質問があり、あらかじめ会議時間を延長し、知事及び警察本部長から答弁があって、午後5時21分延会。

○10月9日（土） 午前10時21分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第14号を議題とし、代表質問を継続、

高橋 鉱議員（公明）から、

- ① 景気対策に関し、関連する予算執行方針の周知徹底方と今後の対策の進め方、中小企業の受注機会の確保に対する姿勢、地場製品開発促進事業等の活用による地場工業の振興策の考え、公共事業費の確保に対する取り組み方
- ② 老人保健法に係る諸問題に関し、保健事業推進のための検診機能の強化・医療機関の協力体制確立・保健婦等人材の確保に対する所見、老人医療給付特別対策事業制度の継続の考え、老人保健法制定による70歳以上の老人医療費一部負担を公費負担する考え、老人保健法実施に伴う国民健康被保険者の負担軽減の考え
- ③ 灯油対策に関し、灯油の標準価格設定について国へ働きかけている状況と見通し、特別生活資金貸付事業制度充実の考え及び生活保護世帯に準ずるような家庭に対する配慮の考え
- ④ 農業問題に関し、肉用牛経営再建のため肉畜経営改善資金本道枠の確保に対する取り組み方、肉用牛経営の健全な発展のため素牛価格安定等対策強化に対する見解
- ⑤ 教育問題に関し、青少年の非行防止や健全育成のための地域活動の組織づくりの状況と

今後の活動推進の方策、青少年の地域活動への参加及び社会への連帯感等を育てるための具体的施策、青少年の健全育成に係わる意識調査に対する考えと全道規模で実施する考え、道民の健康体力づくり施策の状況、スポーツ活動推進の具体的方策、高校生の交通安全指導充実のための対策、家庭や地域ぐるみによる交通安全指導の考え方、全国高等学校PTA連合会の高校生バイク運転禁止決議を踏まえた今後の対応

- ⑥ 交通安全対策に関し、悪質な違反による死亡事故続発の実態とモラル欠如の運転者が多い実態に対する認識、今後の特別対策のあり方と運転手・一般道民の交通安全意識の高揚策再検討の考え

- ⑦ 北炭夕張新炭鉱の問題に関し、ヤマの早期再開に対する最大限の努力方等について

質問及び要望があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。高橋鉦議員（公明）から再質問があり、知事から答弁。次いで、一般質問に入り、

伊藤 弘議員（自民）から、

- ① 国鉄地方線廃止問題に関し、A B 鉄道新線の建設状況と今後の見通し、第3セクター方式についての可能性と出資や経営見通しに対する見解、第2次廃止路線をめぐる見通しと第1次廃止路線の経過を踏まえた今後の対処策

- ② 教育問題に関し、高等学校教育の質的充実についての基本的認識及び教育機器の配置の実態と今後の整備計画の状況、LL教育の本道の実態と将来の配置計画や基準に対する考え、情報処理教育センターの活用状況と各学校のコンピューター配備の実態、教育機器を活用するための教職員研修の状況、情報処理教育に係る教材開発等の所見について

質問があり、知事及び教育長から答弁。

次いで、各委員会付託議案調査のため、10月12日は休会することに決定して、午後零時9分延会。

○10月13日（水） 午前11時35分開議、諸般の報告後、

日程第1 議案第1号ないし第14号を議題とし、一般質問を継続、

萩上 元春議員（社会）から、

- ① 国鉄ローカル線廃止問題に関し、廃止反対の意向表明後に特定地方交通線対策協議会に参加した理由、第2次線廃止に対する考えと今後の対処策、国鉄バスの国鉄からの分離に対する考えと対処方
- ② 青函トンネルと電化問題に関し、青函トンネル出口からの取り付け線工事の着工見通しと機関車基地等の誘致見通し及び工事発注における地元業者優先の考え、青函トンネル～函館間の電化予定に合わせた函館～東室蘭間の複線・電化の必要性和その見解
- ③ 水産問題に関し、秋サケ定置漁業格差是正のため次期漁業権切りかえに際しての対処、秋サケ1本釣りを遊漁者へ開放する考え、ブナザケの料理・加工等利用開発推進の考え、ヒラメ等魚類の栽培漁業振興に対する考え
- ④ 職員の汚職事件に関し、前総務部管財課職員の道発注工事における収賄事件の概要、職員の汚職防止の具体的対策状況と工事発注における職場のチェック機能の状況、業者の登録・指名におけるチェック状況、業者との関係に対する今後の処置方、工事発注担当者と業者の関係改善の考えと不良業者に対する今後の対策と見解等について

質問があり、知事から答弁。萩上元春議員（社会）から再質問があり、知事から答弁。午後零時40分休憩、午後2時3分再開。次いで、

関根 建二議員（社会）から、

- ① 灯油価格対策に関し、最近の灯油価格高騰の原因と国の考え方に対する見解、価格の抑制に対する決意と見通し、東北各県との共同による国等への働きかけの考え、道民生活安定条例に基づく業界への価格引き下げ勧告を実施する考え、灯油価格の高騰に伴う老人世帯等への影響の実態と認識、特別生活資金貸付事業の実績と効果、福祉灯油を実施しない理由
- ② 地域医療対策に関し、夕張炭鉱病院の今後の運営と市移管の見通し及び公立病院へ移管するに当たっての医療法上の問題点、市立病院移管に伴う道の財政援助の考え、医療技術者の確保に対する道の対処の考え、市立病院移管後の支援に対するあり方

③ 環境保全問題に関し、泊原発の安全性における国の責任と環境モニタリング体制に対する見解、環境モニタリング基本計画策定に当たってのモニタリングの方法・環境監視センター機能整備等の方針、放射線測定技術者養成の時期と場所、道・地元4町村と北電との環境保全等の建設協定の協議状況、建設協定協議に際し広く住民意向を反映させることの必要性、漁業環境へ与える影響評価と振興資金額算定の方法、漁業操業への具体的制約と岩宇地方の将来の漁業環境へ与える影響に対する見解

④ 空き缶対策に関し、北海道クリーン作戦の成果と内容、デポジット制度の導入等検討の考えと条例化の検討状況及び今後の見通し、空き缶散乱防止策として青少年のモラルの高揚を図る必要と今後の取り組み方、ビール会社にペット容器を自主回収するよう要請する考え

⑤ 防衛問題に関し、平和と防衛に対する概念と認識及びその関連性、愛国心・国を守る気概の概念とその形成の条件、シーレーンの方針と専守防衛との関係の認識、F15の千歳基地配備計画の国防方針における位置づけ、本道及び周辺での日米共同訓練についての所見、道師団幹部と支庁長との定期協議の内容及び支庁長に対する防衛問題についての示唆の有無等について

質問があり、知事から答弁。関根建二議員（社会）から再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により午後3時28分休憩、午後4時43分再開し直ちに延会。

○10月14日（木） 午前10時29分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第14号を議題とし、一般質問を継続、知事から10月13日の本会議における関根建二議員（社会）の再質問に対する答弁の後、関根議員から再再質問があって知事から答弁。次いで、

湯本 芳志議員（社会）から、

① 企業誘致関連問題に関し、いすゞ自動車の本道工場における生産の将来展望、いすゞ自動車関連工業の育成対策の状況、今後の関連

企業の育成と参加への具体的対策

② 労働災害防止に関し、労働災害の受けとめ方とその防止対策及び今後の処置方、道発注工事における労働災害絶滅への見解、道発注工事における労働災害把握の必要性の有無と公共事業の立場からの安全管理強化についての考え、道発注工事と民間工事との労働災害発生状況を比較したデータの有無、下請業者等に対する安全確保についての具体的指導方法、労働災害を起した業者に対する措置状況と妥当性等について

質問があり、知事から答弁。湯本芳志議員（社会）から再質問があり、知事から答弁。岩崎守男議員（社会）から、議事録精査を求める旨の発言があって午前11時45分休憩、午前11時46分再開。議事進行の都合により直ちに休憩、午後4時42分再開。知事から湯本議員の再質問に対する補足答弁。次いで

伊藤 豪議員（道政）から、

① 道産工業製品の活用に関し、より積極的取り組みの必要性、道内所在の国の出先機関・市町村等における道産工業製品の活用要請の促進方、道産品愛用運動の民間建設業界への働きかけと道民に対する意識啓発の今後の対処策

② 野幌森林公園と周辺地域の整備に関し、体系的利用形態への基本的見解、開拓の村協会（仮称）の運営に果たす役割と開拓の村の今後の整備計画の状況、公園の快適な利用確保のための駐車場整備の考えと駐車料金制度検討の見解、公園内歩道の整備充実に対する所見、道立運動公園等への連絡道路の車両通行開放及び整備検討の考え、公園内民有地の将来整備の考え、総合運動公園開催の国体競技の水球・飛び込み種目施設建設の有無と見通し、総合運動公園の経済的・効率的な管理運営の必要性等について

質問があり、知事から答弁があって午後5時11分延会。

○10月15日（金） 午前10時8分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第15号を議題とし、知事から提出議案に関する説明。次に

日程第1にあわせ

日程第2 議案第1号ないし第14号を議題とし、一般質問を継続、

渋谷 澄夫議員（社会）から、

- ① 道内中小鉱山対策に関し、中小鉱山と下川鉱山への援助状況、下川鉱山休山の保安対策、休山に伴う下川町の振興対策、下川鉱山における高レベル廃棄物試験の主たる内容・試験期間・実験施設の撤去時期・58年度以降継続の可能性・実験結果公開の時期・放射性物質不使用確認の有無
- ② 放射性廃棄物に関し、幌延町の低レベル放射性廃棄物貯蔵施設誘致における道の態度決定と町に対する働きかけの時期、誘致に対する自民党道連の支援意向決定についての見解、誘致が町の振興に与える効果についての見解
- ③ 原発問題に関し、人工の放射線と自然の放射線の人体に与える影響の認識変化の有無、泊原発の温排水利用計画等の把握状況、原発の補償等に係わる風評が雑誌等にかれることに対する見解、地域住民説得のための見学招待旅行や漁業補償等の経費が電気料金原価に算入される懸念、核燃料及び使用済み燃料の海上輸送の安全性に対する見解、原発労働者の被曝実態、国が事業主体に被曝対策を求めた結果の報告状況、プルトニウム利用計画に伴うプルサーマル方式導入方針とその危険性指摘に対する見解及びこれに係わる実験を事故の多い美浜1号炉・敦賀1号炉等で行う計画に対する見解
- ④ 教育問題に関し、教科書における戦争記述のあり方に対する見解、教科書検定制度や学習指導要領の改正等に対する見解、平和に対する現状についての見解、アイヌ記述に係わってアイヌ教育研究協議会が結論を得る時期と道教委として文部省へ検討結果を申し入れる考え及び学校等への指導方法、丙午の反動による58年高等学校間口増にかかる学区調整の考え及び過去2年間の収容率の比較について

質問があり、知事、教育委員長及び教育長から答弁。渋谷澄夫議員（社会）から再質問、知事から答弁準備に時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により午前11時16分休憩、午後2時56分再開。知事から休

憩前の渋谷議員の再質問に対する答弁の後、渋谷議員から再再質問があって知事から答弁。次に

岡本 栄太郎議員（社会）から、

- ① 道発展計画に関し、点検見直しを知事在任中に行えない理由、苫東開発計画における基幹産業の立地見直しに対する考え、苫東の地価抑制のため公債を発行し借入金の金利負担をすることに対する見解、農林水産物資源を活用した地場産業育成の対処方、発展計画における水田の潜在生産力確保の見直しに対する見解
- ② 農業問題に関し、農業振興方策決定に当たっての考え方、農政審議会報告に対する受けとめ方、農業就業構造の現況と問題点及びその対策、中核農家の経営に係わる見通しの的確性、畑作地帯における65年度目標実現のための生産基盤整備対策の見通し、作付規模の拡大・作付団地化と生産組織の形成・農地利用の高度化・水田汎用化による田畑転換と合理的土地利用に対する具体策、他用途米についての本道稲作の位置づけに対する考え、臨調における農業関係に係る答申の受けとめ方、農業関係機関縮小方針についての所見、乳製品の輸入に係わり国への働きかけ等対策の状況、酪農経営改善計画見直しに当たっての方針
- ③ 地方財政に関し、57年度の市町村財政に対する具体策、58年度の地方財政対策、夕張新炭鉱閉山に係る、公共事業と下請業者対策に対する見解及び夕張市・周辺市町村・関連商工業者と従業員に対する広範な地域対策のあり方について

質問があり、知事から答弁。岡本栄太郎議員（社会）から再質問。知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により、午後4時30分休憩、午後5時44分再開。知事から休憩前の岡本議員の再質問に対する答弁があって、午後5時56分延会。

○10月16日（土） 午前10時58分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号を議題とし、一般質問を継続、昨日に引き続き岡本栄太郎議員（社会）から再再質問、知事から答弁。次に、

輪島 幸雄議員（社会）から、

- ① 北海道自立論と文化に関し、他力依存主義から脱皮する意識転換の必要性、北方の風土に根差した北海道づくりと自立心養成との関連、本道開拓の歴史と精神風土に対する認識、独創的な文化づくりについてのこれまでの取り組みと成果、文化に対する知事の基本理念

- ② 発展計画における雇用問題に関し、発展計画における就業確保と就業率の見通し、雇用環境の影響度合いの分析、発展計画の現状に対する認識及び対応策、パートタイム労働の実態に対する認識と労働行政上の取り組み等について

質問があり、知事から答弁、輪島幸雄議員（社会）から再質問があり、議事進行の都合により午後零時休憩、午後2時54分再開、知事から休憩前の輪島議員の再質問に対する答弁があって午後3時6分延会。

○10月18日（月） 午前10時25分開議、諸般の報告の後、

日程第1 特別委員補欠選任の件を議題とし、議長指名により北方領土対策特別委員に舟山広治議員（社会）を補欠選任することをはかり、異議なく決定。次に、

日程第2 議案第1号ないし第15号を議題とし、一般質問を継続、

木下 一見議員（道政）から、

- ① 北方領土問題に関し、北方領土返還に係る国際的世論喚起の具体的方策、根室地域の振興対策と北方特別措置法の施行に伴う基金の運用方針、今後の国連への北海道使節団派遣に対する見解、南樺太の帰属の決定に対する見解
- ② 水産問題に関し、魚礁設置に係る事前調査の実施状況、魚礁工事の設計基準の取り扱い、魚礁設置による効果の分析状況、第2次沿岸漁場整備事業の推進策
- ③ 観光行政に関し、石勝高原リゾート開発計画に対する援助の考え方、道外観光客の誘致促進のため大型イベントを実施する考え、新しい観光ルートの開発と入り込み実績、根室地区の宿泊施設の拡充
- ④ 福祉問題に関し、社会福祉法人及び社会福

祉施設の指導監査体制と実績、社会福祉施設の人事のあり方、日本船舶振興会及びB&G財団からの社会福祉施設等への補助打切りに対する対処策

- ⑤ 教育問題に関し、校内暴力に対する学校教育及び社会教育両面からの施策の必要性、登校拒否の実態把握と対策等について質問があり、知事及び教育長から答弁。次に、

伊藤 武一議員（公明）から、

- ① 医療対策に関し、国立病院・療養所の保健医療基本計画における位置づけと診療機能の充実を図る必要性、医師の都市集中の実態と地域における医師確保策、総合的な腎疾患対策の確立、腎移植体制の促進策、人工透析を実施している医療機関の配置状況と今後の体制整備、がん検診センターの増設、肺がんの検診体制の強化の必要性
- ② 父子家庭の福祉対策に関し、父子家庭特別相談事業の相談件数と内容、今後の父子家庭対策の進め方

- ③ 水産加工業の振興対策に関し、本道水産加工業の今後の位置づけと経営基盤の体質強化策、釧路水産試験場の加工部門の研究体制の強化策

- ④ スパイクタイヤ対策に関し、スパイクタイヤの使用による粉じんの発生・騒音等の影響に対する認識、スパイクタイヤ問題についての調査研究の現状と今後の取り組み方

- ⑤ 釧路湿原に関し、国立公園の指定に向けての地権者との対応の考え等について

質問があり、知事から答弁、伊藤武一議員（公明）から再質問があって知事から答弁。議事進行の都合により午後零時30分休憩、午後1時42分再開。

川崎 守議員（共産）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、F15・F16戦闘機配備計画等の受けとめと配備取り止めを要求する考え、防衛費予算を福祉・教育費等へ振りむけることを国へ申し入れる考え、米国との共同通信訓練に係る道への通知内容と対応
- ② 開発問題に関し、苫東・石狩湾新港計画を再検討する考え及びマスタープランの実現見通し、中空知中核工業団地計画の達成見通し、沙流川総合開発に係る現地説明会における住民意見の内容と対応

- ③ 灯油問題に関し、灯油値上げの動きに対する見解
- ④ 行政改革に関し、第2次臨調の基本答申に対する見解及び本道に与える影響についての認識
- ⑤ 人事院勧告の凍結に関し、政府に対し勧告の凍結を解除するよう申し入れる考え及び道職員の人事委勧告がなされた場合の対応
- ⑥ 北炭夕張新炭鉱の閉山に関し、労務費の資金措置を早期に行うことについての努力方、離職者の就労対策
- ⑦ テクノポリスに関し、函館市の地域指定の見通し
- ⑧ 教育問題に関し、教科書のアイヌについての記述に対しウタリ協会からの抗議の受けとめ方、札幌市における高校新設計画、函館市の新設校の間口数、地方美術館の設置計画等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。川崎守議員（共産）から、再質問があり、議事進行の都合により、午後2時55分休憩、午後3時59分再開。知事及び教育長から休憩前の川崎議員の再質問に対する答弁の後、川崎議員から再再質問、知事から答弁があって、質疑並びに質問を終結。次いで、

木下一見議員（道政）から、予算に関する案件について31人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、議案第1号ないし第7号及び第15号の各案件を付託の上審査されたいとの動議を提出、賛成があって動議成立、これをもって異議なく可決。次の委員を議長指名により選任。次いで、残余の案件について議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

○予算特別委員（31人）

小田原 要四蔵(社会)	樫林 巖(社会)
青山 章(自民)	佐々木 行雄(自民)
高橋 康之(自民)	木下 一見(道政)
橋 浪蔵(道政)	土屋 良三(自民)
松本 勇(自民)	吉川 貴盛(自民)
関根 建二(社会)	長岡 寅雄(社会)
伊藤 武一(公明)	柳谷 正一(公明)
輪島 幸雄(社会)	渋谷 澄夫(社会)
石崎 喜太郎(自民)	岩田 徳弥(自民)
佐々木 利昭(自民)	佐藤 静雄(自民)

中崎 昭一(自民)	小野 秀夫(道政)
新沼 浩(自民)	小笠原 孝(自民)
小沢 栄吉(自民)	笹浪 幸男(自民)
鈴木 誠二(社会)	熊谷 克治(社会)
本間 喜代人(共産)	吉田 政一(自民)
若狭 靖(自民)	

○10月22日（金） 午後4時30分開議、諸般の報告の後、知事から、10月20日の予算特別委員会第2分科会の審議に際し、出席を求められた寺田副知事が休暇不在のため審議の停滞を来した事について遺憾の意を表明。次いで、

日程第1 会期延長の件を議題とし、会期を10月23日まで1日間延長することをはかり、異議なく決定し、午後4時33分散会。

○10月23日（土） 午後4時36分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時37分休憩、午後7時47分再開。諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号を議題とし、小笠原孝予算特別委員長（自民）から、議案第1号ないし第7号及び第15号について、青山正男総務委員長（自民）から、議案第8号及び第13号について、笹浪幸男建設委員長（自民）から、議案第9号について、新沼浩水産委員長（自民）から、議案第10号及び第11号について、中田繁夫文教林務委員長（社会）から、議案第12号及び第14号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、

長岡寅雄議員（社会）から、長岡議員ほか26人提出の議案第1号に関する修正案の趣旨説明の後、討論に入り、本間喜代人議員（共産）から、議案第1号の修正案に係る部分を除く残余の部分に対する反対論があって討論終結。

次いで、採決に入り、長岡議員ほか26人提出の修正案を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政、公明反対）をもってこれを否決。

次に、議案第1号のうち、修正案に係る原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。

次に、議案第1号のすでに決定した部分を除

く残余の部分の問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、日程第1のうち、

議案第13号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、日程第1のうち、

議案第8号ないし第12号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、日程第1のうち、

議案第2号ないし第7号、第14号及び第15号を問題とし、いずれも異議なく委員長報告のとおり原案可決。次いで、

日程第2 議案第16号ないし第20号を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略の上、まず、

議案第16号ないし第18号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり同意議決。次に、

議案第19号及び第20号を問題とし、異議なく原案のとおり同意議決。次いで、

日程第3 意見案第6号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、討論に入り、本間喜代人議員（共産）から反対討論の後、採決に入り、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり可決。次いで、

日程第4 意見案第2号ないし第5号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、いずれも異議なく原案のとおり可決。次いで、

閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を議題とし、各委員長及び関係特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件は、すべて議了。松浦義信議長から、閉会に当たってのあいさつがあって、午後8時27分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は去る10月18日設置され、議案第1号ないし第7号及び第15号の8件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等につきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に青山章君、副委員長に長岡寅雄君、第2分科会は、委員長に関根建二君、副委員長に高橋康之君を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、19日から、各部所管質疑に入り、本日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、先ほどの委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託された案件は、景気浮揚と雇用の安定、国庫支出金の確定に伴う経費及び北炭夕張新炭鉱の閉山に関し、当面緊急を要する経費などについて所要の措置を講じようとするものでありまして、その総額は、一般会計及び特別会計を合せ224億3,600万円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き各分科会において質疑保留となった事項につきまして総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。その総括質疑の主なものを申し上げますと、

老人福祉施設整備費補助金の交付基準と特別助成措置について、

職員の給与改定について、
などであります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第1号につきましては、意見の一致を見るに至らず、本日の委員会において、長岡寅雄君外7人から修正案が提出され、採決の結果、賛成者少数をもって否決せられ、したがって、議案第1号は、原案可決、その他の案件、すなわち、議案第2号ないし第7号及び第15号は、全会一致をもって原案可決と決定した次第であります。

なお、議案第1号につきましては、少数意見が留保されておりますことを申し添えます。

また、議案第1号につきまして、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

1. 最近の景気動向にかんがみ、景気浮揚の事業実施に当たっては、その波及効果に重点を置き、中小企業への受注機会の確保、不況地域への重点配分などをより一層図るべきである。
1. 道が施行する事業に係る地方財政法などに基づく市町村負担金については、その負担に対する財源措置の拡充が図られるよう努めるべきである。

との附帯意見を付されたいとの動議が提出され、賛成者多数をもって、これを決定いたしました次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

第3回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
9. 29	1	昭和57年度北海道一般会計補正予算（第2号）	予算特別	10. 23	原案可決
同	2	昭和57年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	3	昭和57年度北海道有林野事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	4	財団法人北海道開拓の村協会（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	5	石狩東部広域水道企業団に対する出資の件	同	同	同
同	6	北海道農業信用基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	7	中央漁業信用基金に対する出資の件	同	同	同
同	8	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	総 務	同	同
同	9	流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	10	沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水 産	同	同
同	11	漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	12	林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	文教林務	同	同
同	13	財産の取得（苫小牧東部工業基地用地）に関する件	総 務	同	同
同	14	財産の取得（北海道函館地区高等学校建設用地）に関する件	文教林務	同	同
10. 15	15	昭和57年度北海道一般会計補正予算（第3号）	予算特別	同	同
10. 23	16	北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	17	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	18	北海道人事委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	19	北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	20	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同

報 告

提出月日	番号	件 名	議事結果
9. 29	1	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、9月14日4件専決処分）	報告のみ

前会から継続審査中の案件

報 告

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
7. 7	61	昭和56年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	9. 29	意見を付 し 認定議決
同	62	昭和56年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	63	昭和56年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同
同	64	昭和56年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	同
同	65	昭和56年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	同
同	66	昭和56年度北海道有料道路事業会計決算に関する件	同	同	同
同	67	昭和56年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同	認定議決

第3回定例会において議員から提出のあった案件

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
9. 29	1	昭和57年産畑作物価格等に関する要望意見書	若狹靖議員ほか12人	9. 29	原案可決	農 務
10. 23	2	中小企業事業承継税制の創設に関する要望意見書	藤井虎雄議員ほか 12人	10. 23	同	商工労働
同	3	北炭夕張新炭鉱対策に関する要望意見書	宇川源吉議員ほか 14人	同	同	石炭対策 特 別
同	4	国鉄自動車部門の存続に関する要望意見書	青山正男議員ほか 12人	同	同	総 務
同	5	土地基盤整備と環境整備の促進に関する要望意見書	伊藤豪議員ほか10人	同	同	農地開発
同	6	第9次道路整備5カ年計画の策定に関する要望意見書	笹浪幸男議員ほか 12人	同	同	建 設

注 備考欄は提出者の所属委員会を示す。

修 正 動 議

提出月日	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
10. 23	議案第1号 昭和57年度北海道一般会計補正予算（第2号）に対する 修正動議	長岡寅雄議員ほか 26人	10. 23	否 決

意見案

意見案第1号

(若狭 靖議員ほか12人提出)
9月29日 原案可決

昭和57年産畑作物価格等に関する要望意見書

北海道の畑作は、稲作、酪農、畜産とともに本道農業の基幹部門であり、我が国における食糧供給の重責を担っております。

しかしながら、本道の畑作経営は、厳しい自然条件のもとにあって、未だ土地基盤整備が立ち遅れているほか、生産資材価格等の上昇や、輸入農産物との厳しい競合関係にあるなど多くの問題を抱えております。

つきましては、昭和57年産畑作物の生産者価格の決定に当たっては、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望致します。

記

1. てん菜の最低生産者価格について

てん菜の最低生産者価格については、農家所得と再生産の確保が期せられるよう、奨励金を価格に織り込み適正な価格に引き上げるとともに、てん菜の位置づけの確保、原料処理対策、てん菜糖の流通販売対策についても適切な措置を講ずること。

2. 馬鈴しょでん粉の政府買入価格及び原料基準価格について

馬鈴しょでん粉の政府買入価格及び原料基準価格については、農家所得と再生産の確保が期せられるよう適正な価格に引き上げるとともに、コーンスターチ用とうもろこしに係る関税割当制度を延長し、適切な抱き合わせ販売制度を継続すること。

3. 大豆の基準価格について

大豆の基準価格については、農家所得と再生産の確保が期されるよう適正な価格に引き上げるとともに、適切な生産対策を講ずること。

4. 関連諸対策について

雑豆等農畜産物の輸入の自由化及び枠拡大を行わないこと。また、生産コストの低減を促進する生産流通対策の拡充など適切な措置を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
農林水産大臣 }

意見案第2号

(藤井虎雄議員ほか12人提出)
10月23日 原案可決

中小企業事業承継税制の創設に関する要望意見書

中小企業は、あらゆる業種分野で主要な地位を占め、地域経済の発展と雇用機会の確保に大きな役割を担い、我が国経済の活力の源泉となっている。

近年、多くの中小企業においては、経営者の高齢化により、世代交替期を迎えているが、昨今の地価の高騰などにより土地等の事業用財産や株式の評価額が著しく高くなっていることから、後継者が事業承継をする場合の相続に係る税負担が過重となっているので、これら

中小企業経営者は、事業承継に当たって、事業の縮小・廃止などの厳しい事態に直面している。

よって、政府においては、中小企業の事業承継に係る税負担を軽減し、中小企業における事業承継を円滑化することにより、中小企業の経営の安定と発展を図るため、中小法人の株式及び個人事業者の事業用財産の評価方法を改善するなど、「中小企業事業承継税制」を早期に創設するよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣 }各通
通商産業大臣

意見案第3号

(宇川源吉議員ほか14人提出)
10月23日 原案可決

北炭夕張新炭鉱対策に関する要望意見書

北炭夕張新炭鉱は、去る10月9日露天掘を除き閉山し、同月14日をもって全従業員を解雇したところである。かかる事態は、同鉱に働いていた従業員や関連企業、地元商工者はもとより、地域の経済社会に深刻な影響を及ぼしており、極めて憂慮される重大な局面を迎えている。

従って、夕張地域の経済社会の安定を図るため、政府及び関係機関におかれては、次の事項について、特段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

記

1. 新会社の早期設立

地域の振興と貴重な国産エネルギーの確保という観点から新会社が早急に設立され、新区域十尺層の開発のための強力な指導、支援措置を講ぜられたい。

2. 炭鉱離職者対策

(1) 離職者の再就職を促進するため、広域職業紹介や職業訓練の実施及び雇用促進住宅の確保等、総合的な諸対策の推進に配慮されたい。

(2) 炭鉱離職者求職手帳の発給要件を改善し、下請労働者を直轄鉱員並みに取り扱われたい。

3. 下請企業・商工業者対策

下請企業や商工業者の経営の維持安定を図るため、公共事業の重点配分による下請企業等の仕事の確保及び政府系中小企業金融機関による融資の促進と既往貸付金に係る償還猶予等の措置について配慮されたい。

4. 地方財政対策

閉山に伴い、夕張市の財政は、税収等の大幅減少、特別な財政需要の増大などにより益々逼迫することから、特別交付税の大幅な増額と起債の充当率の引き上げなど特別の措置を講ぜられたい。

5. 教育対策

離職者子弟の就学（園）確保のため、幼児及び児童・生徒に対する就学（園）援助にかかる国庫補助金の措置並びに日本育英会奨学生の採用条件の緩和と採用枠の拡大について配慮されたい。

6. 北炭真谷地・幌内炭鉱対策

夕張新炭鉱と関連のある北炭真谷地及び幌内両炭鉱が安定操業できるよう配慮されたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業大臣、労働大臣
自治大臣、文部大臣、北海道開発庁長官 }各通

意見案第4号

(青山正男議員ほか12人提出)
10月23日 原案可決

国鉄自動車部門の存続に関する要望意見書

本道は、広大な面積を有し、積雪寒冷の厳しい自然環境に置かれているため、公共交通機関としてのバスが果たしている役割は大きく、地域住民の足として、将来ともその整備充実が必要とされている。

政府は、先般の臨時行政調査会の第三次答申を受け、国鉄再建を図るための緊急対策の一環として、国鉄の自動車部門の分離等について引き続き検討を加えることにしている。

仮に、これが実施された場合、採算性の面から路線が廃止に追い込まれるおそれがあり、本道における地域交通を確保する上で大きな影響の及ぶことが懸念される。

よって、政府並びに関係当局においては、地域における国鉄バスの果たす役割の重要性を十分に認識され、国鉄の経営する公共交通機関として国鉄バスのもつ使命が今後とも果たされるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、運輸大臣
行政管理庁長官、北海道開発庁長官 }各通

意見案第5号

(伊藤 豪議員ほか10人提出)
10月23日 原案可決

土地基盤整備と環境整備の促進に関する要望意見書

北海道農業は我が国における食糧供給の重責を担っており、また本道産業の基幹部門として主要な役割を果たしている。

しかしながら最近の本道農業をめぐる環境は誠にきびしく、長びく米及び生乳の生産調整と加えて農畜産物の輸入自由化・枠の拡大など多くの問題を抱えている。

そこで本道農業生産の一層の向上と立ち遅れている生活環境の整備を図るため、現在実施中の土地基盤整備事業を早期に完成させるとともに農村総合整備事業などを強力に推進すること、また新規事業に於ても、積極的に採択し、事業化を図ることが緊要である。

よって、政府においては、昭和58年度の予算編成及び施策の決定に当り各事業の促進が図られるよう予算枠の拡大について特段の配意をされるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣
農林水産大臣、北海道開発庁長官 }各通

意見案第6号

(笹浪幸男議員ほか12人提出)
10月23日 原案可決

第9次道路整備5カ年計画の策定に関する要望意見書

道路は、経済社会はもとより、地域住民の日常生活に欠くことのできない社会資本である。

地方の時代を迎え、地方定住を促進し、国土の均衡ある発展を図るために道路の果たす役割はますます重要性を増してきている。

特に、広大な土地と豊かな資源を有する本道においては、自動車交通の役割が極めて重要となっているが、これに対し、道路の整備状況は必ずしも十分ではなく、また、過疎及び交通事故対策としても、幹線道路はもとより生活道路に至るまでの道路網の整備が緊急の課題となっている。

よって、政府においては、昭和58年度からの第9次道路整備5カ年計画の策定に当たっては、大幅な事業枠の拡大を図るとともに、道路財源を確実に確保し、道路整備を積極的に推進されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣
建設大臣、北海道開発庁長官 }各通

請 願 ・ 陳 情

① 第3回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審 査 結 果
160	煉瓦工の養成に関する件	札幌市西区福井6丁目6番1号 株式会社 シオベラ 社長 塩原時治ほか9人	商工労働	継続審査
161	北海道立衛生学院歯科衛生士科養成課程2年制移行を求める件	北海道立衛生学院歯科衛生士 科同窓会 会長 南出美保子	厚 生	同
162	コインランドリーの適正管理に関する件	北海道主婦同盟 議長 菅野 幸子	同	同
163	優生保護法の改正に関する件	札幌市中央区北2条西24丁目 早坂 久雄	同	同
164	エルピーガス販売業者の生活権確保のための行政指導並びに釧 路ガス株式会社との紛争解決のためのあつ旋依頼に関する件	社団法人北海道エルピーガス 保安協会釧路支部 支部長 黒谷俊司ほか1人	商工労働	同
165	灯油価格値下げ対策等を要求する件	北海道主婦同盟 議長 菅野 幸子	総 務	同
166	同	同	厚 生	同
167	同	同	商工労働	同
168	灯油価格の値下げを要求し暮らしを守る対策を求める件	日本婦人会議北海道本部 議長 香取 柳子	総 務	同
169	同	同	厚 生	同
170	同	同	商工労働	同
171	国鉄オホーツク本線建設促進に関する件	国鉄オホーツク本線建設促進 期成会 会長 紋別市長 金田 武	総 務	同
172	行政改革に伴う理容・美容・クリーニング業の許認可事項等に関 する件	北海道理容環境衛生同業組合 理事長 石垣忠雄ほか2人	厚 生	同
173	中小企業承継税制の創設促進に関する件	北海道商工会議所連合会 会頭 今井道雄ほか2人	商工労働	同
174	中小企業の事業承継税制の早期確立に関する件	中小企業事業分野確保協議会 北海道支部 支部長 宮崎 省一	同	同
175	老人医療の有料化と所得制限の強化に反対し、高齢者の健康と 医療を守ることにに関する件	北海道高等学校退職教職員の 会 会長 鈴木 好	厚 生	同
176	個人事業税に「みなし法人税（事業主報酬）制度」の適用に関 する件（外2件）	札幌南青色申告会連合会 会長 矢部 信一	総 務	同
177	住居地域内に建設予定のパチンコ店の開店反対に関する件	札幌市西区発寒13条3丁目 代表 笹谷幸雄ほか2人	同	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審 査 結 果
83	「核兵器廃絶、平和北海道宣言」に関する件	北海道母親大会連絡会 実行委員長 多嶋 光子	総 務	継続審査
84	（仮称）釧路がん検診センターの設置に関する件	北海道主婦同盟釧路支部 支部長 工藤 浜江	厚 生	同
85	社会福祉法人釧路まりも学園の運営に関する件	釧路市南浜町9番34号 亀岡 鶴雄	同	同
86	劇団さっぽろ公演事業に対する助成の件	劇団さっぽろ 代表 林中 直樹	文教林務	同
87	政府系資金の貸付対象業種にパチンコ遊技業を指定することに 関する件	北海道遊技業組合連合会 会長 滝沢 嘉門	商工労働	同

② 継続審査中のものであって、第3回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審査の結果
158	憲法改悪に連なる「国家機密保護法」（スパイ防止法）制定促進決議等に反対の件	総 務	取 下 げ

③ 更に継続審査にされるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
15	道内における学生生活の条件改善等に関する件	総 務
24	登別市に警察署設置の件	同
72	「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件	同
100	指名競争入札の執行に関する件	同
115	樺太会館建設に関する件	同
116	「核兵器の製造、保持、持込み等の禁止に関する法律（非核3原則法）」の制定促進に関する件	同
125	国民生活に必要な制度と地方財政への補助金・交付金削減・一括改悪をやめ、民主的な行財政改革によって福祉・教育・地方財政などの充実をもとめる件	同
126	憲法改変・新憲法制定決議に反対の件	同
155	つり人対策に関する件	同
157	たばこ専売制度存続に関する件	同
2	保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件	厚 生
5	家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件	同
8	道立病院の拡充強化を求める件	同
40	道立もなみ学園の廃止案撤回と拡充強化を求める件	同
41	道立身体障害者更生指導所と重度身体障害者更生指導所の縮小統合案撤回と拡充強化を求める件	同
44	道立精神薄弱者施設と光学園の廃止案撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
47	薬害スモン恒久対策に関する件	同
51	道立もなみ学園の廃止案の撤回と拡充強化を求める件	同
53	道立精神薄弱者施設と光学園の廃止案の撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
54	道立寿都病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
55	道立松前病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
57	道立夕張療養所の廃止案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
60	道立中央乳児院の移転・縮小案の撤回並びに現在地での新築・拡充を要求する件	同
61	道立内部障害者更生指導所の美瑛市への移転・縮小・統合に反対し、現在地での存続、拡充を求める件	同
75	国民健康保険に傷病手当、出産手当の実施を求める件	同
94	灯油の価格安定と福祉灯油の実施に関する件	同
96	家庭用灯油の政府指導価格の設定及び福祉灯油の実現に関する件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
107	特別養護老人ホーム増設の件	厚 生
117	老人医療無料制度の充実を求める決議に関する件	同
118	老人保健法（案）の制定に関する件	同
119	医療法の一部改正に関する件	同
120	医業税制の確立及び新医療法人の立法化に関する件	同
121	療養担当手当の引上げに関する件	同
134	難病検診と道立江差病院診療充実に関する件	同
140	精神衛生社会生活適応施設の設立に関する件	同
108	季節労働者の冬期間の仕事の確保と積寒給付金制度の改善に関する件	商工労働
113	季節労働者の雇用確保と生活保障等に関する件	同
151	労働行政職員の増員による行政体制確立に関する件	同
152	積寒給付金制度の改善・継続と季節労働者の雇用対策に関する件	同
154	農業者年金基金制度改善に関する件	農 務
69	道営住宅の敷金還付に関する件	建 設
156	つり人対策に関する件	水 産
12	豊頃町に道立普通科高等学校新設に関する件	文教林務
13	月寒、精進川保健保全林整備に関する件	同
14	道立普通科高校の設置に関する件	同
17	道内における学生生活の条件改善に関する件	同
25	肢体不自由児のための後期中等教育の場を旭川市内に設置する件	同
27	学費値上げをおさえ、父母負担の軽減をはかり、私学教育の充実のために大幅な公費助成を求める件	同
28	美瑛養護学校の機能充実の件	同
30	道立全日制普通科高等学校設置の件	同
31	養護学校設置に関する件	同
32	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学生徒への大幅な公費助成の実現を求める件	同
36	教職員定数改善、40人学級の早期実現を求める件	同
37	美瑛高等学校校舎改築に関する件	同
42	障害児学校寄宿舎教職員（寮母）の勤務条件改善に関する件	同
76	上士幌高等学校校舎改築に関する件	同
98	宿日直員の待遇改善に関する件	同
102	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件を改善するための大幅公費助成を求める件	同
103	留萌南部地区（留萌市・増毛町・小平町）高等学校普通科間口増設に関する件	同
105	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件の改善と56年・57年「ヒノエウマ」の生徒減に対して大幅な公費助成を求める件	同
106	ゆきとどいた教育の実現をはかるための教職員加配、教育予算の増額を求める件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
135	学校の主任制度・手当支給の撤廃を求める件	文教林務
136	40人学級の早期実現・教科書無償制度の維持・私学助成の拡大等・教育予算大幅増額を求める件	同
137	江別市に全日制道立普通科高等学校の新設を求める件	同
138	北海道立高等学校（全日制普通科）の江別市内新設を求める件	同
139	私学の学費値上げをおさえ、父母負担と教育条件の公私格差を是正するために、私学助成の大幅な増額を求める件	同
159	北海道立農業高等学校に造園科の設置を求める件	同
68	合成洗剤追放に関する件	公害対策 特 別

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
26	靖国神社公式参拝に反対の件	総 務
64	郵便貯金の現行制度存続に関する件	同
65	「郵貯懇を見守ること」に関する件	同
66	郵便貯金の現行制度存続に関する件	同
70	郵便貯金問題に関する件	同
74	江別市選出の道議会議員の定数増員に関する件	同
75	総合助燃触媒ターボエース（灯油用）に係るテスト結果の相違を解決する方策に関する件	同
78	塩専売制度の存続に関する件	同
5	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件	厚 生
19	道立和光学園の廃止反対の件	同
28	身体障害者使用自動車のガソリン税の道費補助等に関する件	同
54	老人・母子・年金生活世帯等への「福祉灯油」の実施等に関する件	同
79	愛国児童館建設に関する件	同
80	元軍人軍属恩給欠格者の救済に関する件	同
29	道立中央農業試験場江部乙りんご試験地存続の件	農 務
3	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	建 設
8	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	同
20	道道臨港線計画の抜本的再検討を求める件	同
1	小樽運河とその周辺の伝統的石造建築物群の保存等に関する件	文教林務
2	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	同
11	札幌市北区篠路町付近に公立高校の新設を求める件	同
71	札幌盲学校の名称変更の件	同
72	道立高等看護学院を専修学校又は各種学校として設置・管理すること等に関する件	同
81	江別市に北海道立高等学校（普通科）の新設を求める件	同
82	北海道星置養護学校に高等部の設置を求める件	同

委員会の動き

議会運営委員会

○ 9月28日（火） 午後1時34分、議会運営委員会室において開議、午後1時40分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 委員長から、影山豊議員（社会、胆振支庁選出）の逝去（9月28日）について報告。
- ② 総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 代表質問について、通告は10月2日正午までとすることを了承。
- ④ 一般質問について、順位は従来の例により取り進めることとし、10番目は自民となることを了承。通告については10月5日正午までとすることを了承。
- ⑤ 農務委員会において発議予定の要望意見案について、提出された場合明日の本会議において議決する扱いとすることに異議なく決定。
- ⑥ 議案調査のため、9月30日から10月4日まで休会し、10月5日再開することに異議なく決定。
- ⑦ 9月29日の本会議議事順序について、明日協議することとした。
- ⑧ 10月21日実施される天皇陛下に対する都道府県の地方事情のご説明に知事が上京することについて了承。

○ 9月29日（水） 午前9時43分、議会運営委員会室において開議、午前9時48分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 委員長から、影山豊議員（社会）の逝去（9月28日）に対し議長から弔意を表した旨及び各派の所属議員数（自民56人、社会27人、道政10人、公明5人、共産2人、欠員5人）について報告。議席については、空席とする

ことに決定。

- ② 追悼演説について、同一選挙区の他会派所属議員（自民）とすること及び10月5日の本会議冒頭に行うことを決定。
- ③ 意見案第1号について、別紙のとおり提出があった旨報告の後、本日の本会議において議決することに異議なく決定。
- ④ 中田繁夫文教林務委員長（社会）及び小沢栄吉北方領土対策特別委員長（自民）の本会議欠席（それぞれ第37回国体秋季大会開会式出席、参院沖縄及び北方問題に関する特別委員会の道内視察同行のため）について了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事順序は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（開会）

日程第1 会議録署名議員の指定

諸般の報告

米村邦敏議員の逝去に対する青山

正男議員の追悼演説

米村邦敏議員の逝去に対する黙禱

（休憩後再開）

影山豊議員の逝去報告

日程第2 会期決定の件（9月29日から10月22日まで24日間）

日程第3 議案第1号ないし第14号

提出議案に関する知事の説明

日程第4 前会より継続審査の報告第61号ないし第67号

企業会計決算特別委員長の報告

（討論）

1. 川崎守議員の報告第64号ないし第67号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

1. 報告第64号ないし第67号を問題とし、委員長報告（報告第64号ないし第66号は意見を付し認定議決、報告第67号は認定議決）のとおり決することについて起立により採決

（共産反対）

2. 報告第61号ないし第63号を問題とし、委員長報告（すべて意見を付し認定議決）のとおり決することについて

簡易採決

日程第5 意見案第1号

意見案第1号 昭和57年産畑作物価格等に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決
議案調査のための休会日の決定
(9月30日から10月4日まで)

○10月5日(火) 午前9時41分、議会運営委員会室において開議、午前9時45分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 委員長から、影山豊議員(社会)に対する追悼演説について、本日の本会議冒頭高橋康之議員(自民)が行うことを了承。
- ② 米村邦敏議員(社会)の逝去に伴う北方領土対策特別委員の補充について社会党から推薦することを了承。
- ③ 代表質問の通告(4人)について報告。本日の本会議については、影山豊議員の追悼演説の後30分程度休憩し、再開後代表質問2人を行うこと及び明日2人行うことを決定。
- ④ 予算特別委員会について、(1)構成は31人(自民17人、社会8人、道政3人、公明2人、共産1人)(2)分科会は、2分科会各15人、各派別委員数は各派間の調整によること、(3)正副委員長の配分は、本委員会の委員長は自民、副委員長は社会、第1分科会の委員長は自民、副委員長は社会、第2分科会の委員長は社会、副委員長は自民とすること。(4)委員名簿の提出は10月9日正午までとすること、(5)設置動議の提出は道政とすることを了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

影山豊議員の逝去に対する高橋康之議員の追悼演説

影山豊議員の逝去に対する黙禱

— 休 憩 —

(開議宣告)

日程第1 議案第1号ないし第14号

質疑並びに一般質問(代表質問2人)

○10月6日(水) 午前9時42分、議会運営委員会室において開議、午後4時34分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 総務部長から、昨日の本会議における小田原要四蔵議員(社会)の日高横断道路のアセスメントに関する質問に対する答弁中答弁漏れ等があるので補足答弁したい旨、なお答弁準備のため若干時間を要する旨発言があってこれを了承し、本日の本会議は、小田原議員の質問に対する知事の補足答弁から入ることをはかり、異議なく了承。
- ② 本日の本会議の議事は、代表質問3人を行うことに決定。
- ③ 一般質問の通告(13人)について報告。個人別順位については事務局長説明のとおりとすること及び7日4人、8日4人、9日4人、10日3人、とすることに異議なく決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定し、午前9時48分休憩、午後4時30分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第14号

質疑並びに一般質問(代表質問3人)

- ⑤ 休憩前の本会議における岩崎守男議員(社会)の議事進行発言の取扱いについて、岩崎委員から議事進行発言の趣旨説明の後、総務部長から、答弁について精査するため時間を要する旨発言があって、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することをはかり、異議なく決定。

○10月7日(木) 午前9時55分、議会運営委員会室において開議、午後4時35分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 昨日の本会議における岩崎守男議員(社会)の議事進行発言の取扱いについて、総務部長

から、答弁準備のため時間を要する旨発言があって、午前9時56分休憩、午後4時32分再開。

- ② 委員長から、昨日の本会議における岩崎議員の議事進行発言の取扱いについて、なお時間を要するので本日の本会議は日程を延期し延会することをはかり、異議なく決定。
- ③ 岩崎守男委員（社会）から、明日予定されている道環境影響評価審議会の議題から、道道静内・中札内線の環境影響評価の件は削除されるか否かについて質疑があり、総務部長から答弁。

○10月8日（金） 午前9時42分、議会運営委員会室において開議、午後4時18分散会
委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 10月6日の本会議における岩崎守男議員（社会）の議事進行発言の取扱いについて、総務部長から、補足答弁のための準備に時間を要する旨発言の後、委員長から、本日の本会議は準備出来次第小田原要四蔵議員（社会）の再質問に対する知事の補足答弁から入ることをはかり、異議なく決定。
- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ③ 総務部長から、本日の本会議において知事が、北炭夕張新炭鉱対策について報告を行いたい旨及び小田原議員の代表質問に関し、選挙管理委員長が都合により本会議に欠席、代理者が出席したい旨発言の後、委員長から、これを了承すること及び知事報告については、本日の小田原議員の代表質問終了後、日程第1の議事を中止し、行うことをはかり異議なく決定。
- ③ 本日の本会議について、代表質問は継続質問1人を含め3人を行い、引き続き一般質問に入ることとし、質問者数については、議事進行の状況によりあらためて協議することをはかり了承。

- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時49分休憩、午後4時2分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第14号

質疑並びに一般質問（代表質問1人、継続）

◎日程第1の議事中止

北炭夕張新炭鉱対策に関する知事の報告

◎日程第1の議事継続

質疑並びに一般質問（代表質問2人、一般質問）

- ⑤ 総務部長から、小田原要四蔵議員（社会）の再再質問に対する知事の答弁について、訂正発言したい旨発言の後、本間喜代人議員（共産）から、訂正発言の内容について質問、総務部長から訂正発言内容の概略について説明があり、これを了承。再開後の本会議は知事の答弁訂正発言から入ることに異議なく決定。

○10月9日（土） 午前9時45分、議会運営委員会室において開議、午後9時50分散会
委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、代表質問1人、一般質問3人行う予定で取り進めることを了承。
- ③ 議案調査のため、10月12日は休会し、10月13日再開することに異議なく決定。
- ④ 本日の本会議は、次の順序より取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第14号

質疑並びに一般質問（代表質問1人、一般質問3人）

議案調査のための休会日決定
（10月12日）

○10月13日（水） 午前9時59分、議会運営委員会室において開議、午後4時35分散会
委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 一般質問について、13日4人、14日4人、15日3人の予定で取り進めることを異議なく決定。
- ③ 本日の本会議は、一般質問4人を行う予定で取り進めることを異議なく決定の後、総務部長から追加提出予定案件について説明があり、異議なく了承。
- ④ 佐々木利昭文教林務副委員長（自民）の第6回全国育樹祭への出席に伴う本会議欠席を異議なく了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事順序について、次のとおり、取り進めることに決定し、午前10時3分休憩、午後4時35分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第14号

質疑並びに一般質問（一般質問4人）

- ⑥ 総務部長から、休憩前の本会議における関根建二議員（社会）の再質問に対する答弁準備にお時間を要する旨発言の後、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することをはかり、異議なく決定。

○10月14日（木） 午前9時38分、議会運営委員会室において開議、午後4時37分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 総務部長から、昨日の本会議における関根建二議員（社会）の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言があり、本日の本会議は関根議員の再質問に対する知事答弁から入ることをはかり、異議なく決定。
- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ③ 本日の一般質問について、6人の予定とし、進め方については、進行状況によりあらためて協議することを了承。
- ④ 昭和57年産畑作物価格等に関する中央折衝のため、農務委員2人が本会議を欠席することを了承。
- ⑤ 本日の本会議は、次の順序により取り進め

ることに決定。午前9時42分休憩、午後4時30分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第14号

質疑並びに一般質問（一般質問6人）

- ⑥ 休憩前の本会議における岩崎守男議員（社会）の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、湯本芳志議員（社会）の質問に対する答弁漏れ等があるので補足答弁したい旨発言の後、和田勝之委員（自民）から議事進行発言のあり方等について発言があり、関根建二委員（社会）、工藤啓二委員（公明）、水岡薫委員（自民）の意見交換があった。
- ⑦ 委員長から、質問の主旨に対する的確な答弁方について発言の後、再開後の本会議は湯本議員（社会）の再質問に対する知事の補足答弁から入ることとし、本日の一般質問は伊藤豪議員（道政）まで行くことをはかり、異議なく了承。

○10月15日（金） 午前9時40分、議会運営委員会室において開議、午後4時55分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 総務部長から、追加提出議案（北炭夕張新炭鉱の閉山に関連する予算案1件）について説明の後、本日の本会議冒頭において知事の提案説明を行うことをはかり、異議なく決定。
- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ③ 本日の一般質問について、6人の予定で行い、本日終了しない場合、明日も引き続き一般質問を行うことをはかり、異議なく決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時44分休憩、午後4時47分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第15号

追加提出議案に関する知事の説明

日程第2 議案第1号ないし第14号

(10月18日から10月21日まで)

◎日程第1にあわせ、日程第2を一括議題とし、質疑並びに一般質問（一般質問6人）

- ⑤ 総務部長から、岡本栄太郎議員（社会）の再質問に対する知事の答弁準備になお時間を要する旨発言があって、本日の本会議は午後5時30分に再開すること、午後5時30分までに答弁準備できない場合は延会することに決定。

○10月16日（土） 午前9時55分、議会運営委員会室において開議、午前10時1分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 一般質問について、本日5人行うことに決定。
- ② 予算特別委員会の各派別分科委員数について、決定した旨報告。
- ③ 委員会名簿について、各派から提出あった名簿のとおり選任すること、設置動議は、木下一見議員（道政）に提出願うことを了承。
- ④ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑤ 北方領土対策特別委員の欠員1名に対する補欠選任について、舟山広治議員（社会）を選任すること、本日の本会議の状況により協議願うことを異議なく了承。
- ⑥ 本日一般質問が終了した場合、各委員会付託議案審査のため、10月18日から10月21日まで休会し、10月22日再開することをはかり、異議なく決定。
- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第15号

質疑並びに一般質問（一般質問5人）

（質疑終結宣告）

- 予算特別委員会設置
○予算特別委員の選任
○議案の各委員会付託
各委員会付託議案調査のための休会決定

○10月18日（月） 午前9時38分、議会運営委員会室において開議、午前9時42分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 北方領土対策特別委員の補欠選任について、本日の本会議冒頭に行うことをはかり、異議なく決定。
- ② 一般質問について、本日3人行うことを決定。
- ③ 予算特別委員会の設置及び議案の委員会付託について、16日の委員会決定のとおり取り進めることを了承。
- ④ 各委員会付託議案審査のため、10月19日から21日まで休会し、22日再開することをはかり、異議なく決定。
- ⑤ 本日の本会議は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 特別委員補欠選任の件

1. 欠員中の北方領土対策特別委員に舟山広治議員を補欠選任することについて簡易採決

日程第2 議案第1号ないし第15号

質疑並びに一般質問（一般質問3人）

（質疑終結宣告）

○予算特別委員会設置

○予算特別委員の選任

○議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のための休会決定

（10月19日から10月21日まで）

○10月22日（金） 午後3時58分、議会運営委員会室において開議、午後4時4分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 予算特別委員会及び各常任委員会における付託案件の審議状況について報告。
- ② 会期を10月23日まで1日間延長することをはかり、異議なく決定。

③ 総務部長から、10月20日の予算第2分科会の審議にあたり寺田副知事が不在のため審議が停滞したことについて知事から発言したい旨発言があり、本日の本会議において知事の発言を許可することをはかり、異議なく決定。岩崎守男委員（社会）から会期中議会の了解を得ず出張等をする事について意見があった。

④ 本日の本会議は、知事の発言後、会期を10月23日まで1日間延長して散会することに決定。

○10月23日（土） 午後4時32分、議会運営委員会室において開議、午後7時30分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告の後、取りあえず会議時間を延長することをはかり、異議なく決定。午後4時33分休憩、午後7時26分再開。

② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、すべて議了した旨報告。

③ 総務部長から、追加提出案件（人事案件4件）について説明があり、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり、異議なく決定。

④ 長岡寅雄議員（社会）ほか26人提出の議案第1号に対する修正案の提出があった旨報告の後、本日の本会議に上程する扱いとすることについてはかり、異議なく決定。

⑤ 意見案第2号ないし第6号の提出があった旨報告の後、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり、異議なく決定。

⑥ 本日の本会議は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第15号

予算特別、総務、建設、水産、文教林務各委員長の報告

長岡寅雄議員の議案第1号の修正案に関する説明

（討論）

1. 本間喜代人議員の議案第1号の修

正案にかかわる部分を除く残余の部分並びに議案第8号ないし第13号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

1. 長岡寅雄議員ほか26人提出の議案第1号に関する修正案を問題とし、起立により採決

（自民、道政、公明反対）

2. 議案第1号の予算特別委員長の報告中、修正案にかかわる部分を問題とし、起立による採決

（社会、共産反対）

3. 議案第1号の予算特別委員長の報告中、すでに決定した部分を除く残余の部分の問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて起立により採決

（共産反対）

4. 議案第13号を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについてはかり、起立により採決

（社会、公明、共産反対）

5. 議案第8号ないし第12号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて簡易採決

日程第2 議案第16号ないし第20号

追加提出議案に関する知事の説明

（委員会付託省略）

（採決）

1. 議案第16号ないし第18号を問題とし、本件をいずれも原案のとおり同意することについて起立により採決

（共産反対）

議案第16号 北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件

議案第17号 北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件

議案第18号 北海道人事委員会委員の選任につき同意を求める件

2. 議案第19号及び第20号を問題と

し、本件をいずれも原案のとおり同意することについて簡易採決

- 議案第19号 北海道収用委員会委員
の選任につき同意を求
める件
- 議案第20号 北海道公害審査会委員
の選任につき同意を求
める件

日程第3 意見案第6号

意見案第6号第9次道路整備5
ヵ年計画の策定に関する要望
意見書

(説明及び委員会付託省略)

(討論)

1. 本間喜代人議員の意見案第6号に
関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 本件を原案のとおり決することに
ついて起立により採決

(共産反対)

日程第4 意見案第2号ないし第5号

意見案第2号 中小企業事業承
継税制の創設に関する要望意
見書

意見案第3号 北炭夕張新炭鉱
対策に関する要望意見書

意見案第4号 国鉄自動車部門
の存続に関する要望意見書

意見案第5号 土地基盤整備と
環境整備の促進に関する要望
意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件をいずれも原案のとおり決す
ることについて簡易採決

○閉会中請願、陳情継続審査及び事務
調査の件

各常任委員長並びに公害対策特別
委員長から申し出のとおり閉会中継
続審査または調査に付すことについ
て簡易採決

(議長の閉会あいさつ)

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

○9月28日(火) 午前10時25分、第5委員会室
において開議、午前11時30分
散会

委員長 青山 正男(自民)

一 般 議 事

① 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及
び警察本部総務部長から、第3回定例会提出
予定案件について説明。

② 保格博夫委員(社会)から、地方財政問題
に関し、帯広市が旧帯広刑務所の跡地を取得
し、その一部を土地開発公社に売却し、将来
公園用地として買い戻すという事実関係の有
無、この行為の公有地拡大推進に関する法律
上の適否と価格決定の根拠、市の再取得時に
国からの公園用地取得費補助の可能性につい
て

質疑及び意見があり、総務部長及び地方振興
室長から答弁。

○10月14日(木) 午後5時15分、第5委員会室
において開議、午後5時17分
散会

委員長 青山 正男(自民)

一 般 議 事

○ 総務部長から、第3回定例会追加提出予定
案件について説明。

○10月23日(土) 午後5時45分、第5委員会室
において開議、午後5時53分
散会

委員長 青山 正男(自民)

付託案件の審査

① 議案第8号(空港整備事業に伴う地方公共
団体の負担金に関する件)を議題とし、開発
調整部長から説明の後、採決に入り、挙手採
決の結果、挙手多数(社会反対)をもって、
原案のとおり可決することに決定。

② 議案第13号(財産の取得に関する件)を議
題とし、開発調整部長から説明の後、採決に

入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって、原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、国鉄自動車部門の存続に関する要望意見案について、配付の案文により発議することををはかり、異議なく決定。
- ③ 人事委員会事務局長から、昭和57年職員の給与に関する報告および給与改定に関する勧告について説明。

○10月25日（月） 午前10時42分、第5委員会室
において開議、午前10時45分
散会
委員長 青山 正男（自民）

請願・陳情の審査

請 願

第72号 「モーテル類似旅館」の建築規制
等に関する件 （採択）

○11月9日（火） 午後1時25分、第5委員会室
において開議、午後1時55分
散会
委員長 青山 正男（自民）

請願・陳情の審査

請 願

第171号 国鉄オホーツク本線建設促進に
関する件 （採択）

第177号 住居地域内に建設予定のパチン
コ店の開店反対に関する件
（保留）

一 般 議 事

- ① 委員長から、道内における地方行財政等調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 岩崎守男委員（社会）から、身体障害者に対する自動車税及び自動車取得税に関し、課

税免除の基本的な考え方、課税免除の実態と対象範囲を拡大する考え、難病患者に対する課税免除について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

厚 生 委 員 会

○9月28日（火） 午前10時26分、第9委員会室
において開議、午前10時33分
散会
委員長 石山 直行（自民）

一 般 議 事

- ① 民生部長及び衛生部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 民生部長から、サハリン州地域墓参団の墓参実施概要について報告。

○10月23日（土） 午後5時40分、第9委員会室
において開議、午後5時42分
散会
委員長 石山 直行（自民）

一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり異議なく決定。

○10月25日（月） 午後零時7分、第9委員会室
において開議、午後零時47分
散会
委員長 石山 直行（自民）

請願・陳情の審査

請 願

第161号 北海道立衛生学院歯科衛生士科
養成課程2年制移行を求める件
（採択）

一 般 議 事

- ① 委員長から、北霊碑慰霊祭の参列については、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ② 関根建二委員（社会）から、札幌地裁で言

い渡される予定(26日)の小樽種痘禍訴訟の判決に関し、道のとるべき態度及び基本的な考えについて

質疑、意見及び要望があり衛生部長から答弁。

○11月5日(金) 午後1時32分、第9委員会室
において開議、午後1時51分
散会

委員長 石山 直行(自民)

一 般 議 事

① 衛生部長から、予防接種に係わる損害賠償請求に対する札幌地裁判決について報告。

② 衛生部長から、夕張市立病院の設置及び道立夕張療養所の廃止について報告の後、

関根建二委員(社会)から、市立病院の開設に当たり財政援助等の十分な対応措置、療養所の廃止に係る職員団体との協議の合意について

要望があった。

③ 川崎守委員(共産)から、精神障害者の社会訓練施設に関し、社会訓練施設を全道的に整備することについて、市町村に対する指導の強化、運営費に対する補助金の増額の考えについて

質疑、意見及び要望があり衛生部長から答弁。

○11月30日(火) 午後1時50分、第9委員会室
において開議、午後3時47分
散会

委員長 石山 直行(自民)

請願・陳情の審査

請 願

第47号 薬害スモン恒久対策に関する件

(保留)

本件について、衛生部長から説明の後、関根建二委員(社会)から、道内の患者数、居住の実態、全国9地域の裁判継続の実態、治療費対策、生活対策について患者の就業実績と総合的な対応の考えについて

質疑があり、衛生部長から答弁があって、保留することに異議なく決定。

第134号 難病検診と道立江差病院診療充

実に関する件 (保留)

本件について、衛生部長から説明の後、川崎守委員(共産)から、センター病院である道立江差病院の拡充計画の考え、現在標ぼうの科目、専任の医師数、小児科医の確保の見通し、内科医の小児患者の診療状況、夜間急救の実施状況、内科急患の受入れ体制、難病検診に関し、巡回検診の実態、道の江差地区での巡回検診実施の考えについて

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、保留することに異議なく決定。

第172号 行政改革に伴う理容・美容・クリーニング業の許認可事項等に関する件 (保留)

本件について、衛生部長から説明の後、関根建二委員(社会)から、制度の廃止に伴う資質の低下、環境衛生の後退についての考え、地方議会の動向に対する見解について

(関連して、高木繁光委員(自民)から、理容学校の実態と資質の低下について)

質疑及び意見があり、衛生部長から答弁があって、保留することに異議なく決定。

一 般 議 事

○ 衛生部長から、夕張市立病院の設置及び道立夕張療養所の廃止について報告の後、

舟山広治委員(社会)から、夕張市立病院の開設に関し、道から市に対する6億円の補助について報道されたが、この事態をどう判断するか部長の考えについて(関連して、川崎守委員(共産)から、報道の出所、補助金額の変更の有無、現在の北炭病院と新病院の診療科目、病床数、医師数について)

質疑があり、衛生部長から答弁。

商 工 労 働 委 員 会

○9月28日(火) 午前10時19分、第8委員会室
において開議、午前10時24分
散会

委員長 藤井 虎雄(社会)

一 般 議 事

○ 商工観光部長及び労働部長から、第3回定例会提出案件について説明。

○10月23日（土） 午後5時47分、第8委員会室
において開議、午後5時49分
散会
委員長 藤井 虎雄（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、中小企業事業承継税制の創設に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月25日（月） 午前10時42分、第8委員会室
において開議、午前10時49分
散会
委員長 藤井 虎雄（社会）

一 般 議 事

- ① 商工観光部長から、特定不況地域等の追加指定について報告。
- ② 労働部長から、特定不況地域離職者臨時措置法に基づく特定不況地域の追加指定について報告。

○11月8日（月） 午後1時35分、第8委員会室
において開議、午後1時47分
散会
委員長 藤井 虎雄（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した中小企業事業承継税制の創設に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長から、下川鉦山の休山について報告。
- ③ 労働部長から、高年齢者雇用状況等について報告。
- ④ 労働部長から、身体障害者雇用状況について報告。

農 務 委 員 会

○9月28日（火） 午前10時50分、第7委員会室
において開議、午前11時38分
散会
委員長 若狭 靖（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、昭和57年産畑作物価格等に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 農務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ④ 農務部長から、農作物の生育状況について説明の後、
岡本栄太郎委員（社会）から、キタヒカリに不稔が多く出た理由及び原因究明の必要性、農業共済に対する指導の強化・品種別の対策・指導の考えについて
質疑及び要望があり、農務部長から答弁。
- ⑤ 岡本栄太郎委員（社会）から、牛乳の安売りに関し、移動販売車や加工原料乳の認定に係る乳業工場の実態調査の状況・製造・原価公表の必要性、認定業務のあり方について
質疑及び要望があり、農務部長から答弁。

○10月23日（土） 午後5時42分、第7委員会室
において開議、午後5時44分
散会
委員長 若狭 靖（自民）

一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月25日（月） 午前10時55分、第7委員会室
において開議、午後零時20分
散会

委員長 若狭 靖（自民）

請願・陳情の審査

請 願

第 154 号 農業者年金基金制度改善に関する件
(採択)

一 般 議 事

① 委員長から、さきに実施した昭和57年産畑作物価格等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 農務部長から、昭和57年産畑作物価格等の決定について説明の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、(1)てん菜の奨励金に関し、内枠奨励金の有無、未公表の現状でのビート価格算出に対する部長の判断、(2)糖価に関し、かけ込み輸入と生産増の要因による消費の見通し及び安定消費のための行政的配慮について

質疑があり、農務部長及び畑作振興課長から答弁。

③ 農務部長から、農作物の生育状況について説明の後、

渋谷澄夫委員（社会）から、米の着色粒に関し、カメムシによる被害と籾割れ発生 of 把握状況とカメムシ防除の指導状況、規格外米に対する対処、収入減に伴う共済制度の適用対策

吉野之雄副委員長（社会）から、稲の収穫後の共済適用の有無と対策

岡本栄太郎委員（社会）から、カメムシの予察方法と体制、作況指数の取り方について質疑があり、農務部長、主任専門技術員、農業改良課長及び農業経済課長から答弁。

○11月9日（火） 午後1時34分、第7委員会室において開議、午後3時19分散会

委員長 若狭 靖（自民）

一 般 議 事

① 農務部長から、昭和57年度道営競馬の成績について報告の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、過大な予算計上の理由と来年以降の計上見通し、1レースごとの出走馬の頭数増の必要性及び組み合せの配慮について

質疑があり、農務部長から答弁。

② 農務部長から、昭和57年産米麦の出荷状況について報告の後、

渋谷澄夫委員（社会）から、超過米を抱えている地域の現状と対策、規格外米の内容、処理及び価格対策

岡本栄太郎委員（社会）から、超過米の限度数量調整の方針について

質疑があり、農務部長から答弁。

③ 委員長から、昭和58年度転作等目標面積の軽減措置に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

④ 岡本栄太郎委員（社会）から、(1)58年度の減反に関し、基本的な考え方、緩和の見通し、米の需給見通し、(2)農林水産省北海道農業対策室に関し、設置状況、道職員派遣の有無、(3)団体営草地改良事業に関し、農協直営の共通管理費の補助対象化及び国に対する道の取り組み

神本三也委員（社会）から、(1)北海道農業対策室に関し、設置の期間及び理由、論議のあり方、道の農業対策室の検討結果の扱い方、(2)課税の問題に関し、国の税制調査会での改正検討に対する農政上の立場からの見解及び取り組みについて

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

建 設 委 員 会

○9月28日（火） 午前10時25分、第4委員会室において開議、午前10時45分散会、委員長事故のため、副委員長 中川隆之（道政）

一 般 議 事

① 土木部長及び住宅都市部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

② 住宅都市部長から道立戸井高等学校屋内体育館増築工事の入札執行に関する調査結果について報告の後、

萩上元春委員（社会）から、再入札の実施方法、景気対策事業の執行に関し、業者等級

に適應する工事の発注方、業者の指導監督の強化について
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

○10月23日（土） 午後5時45分、第4委員会室
において開議、午後5時50分
散会
委員長 笹浪 幸男（自民）

付託案件の審査

- 議案第9号（流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対）をもって原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、第9次道路整備5カ年計画の策定に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月25日（月） 午前10時35分、第4委員会室
において開議、午前10時39分
散会
委員長 笹浪 幸男（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内における建設事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、第9次道路整備5カ年計画の策定に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

○11月9日（火） 午後1時29分、第4委員会室
において開議、午後1時37分
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

一般議事

- 土木部長から、昭和57年度除雪事業計画について説明の後、
西尾六七委員（自民）から、開発局の除雪体制に関し、国道の除雪事業の見通し及び道の対応について
質疑及び要望があり、土木部長から答弁。

農地開発委員会

○9月28日（火） 午後1時40分、第3委員会室
において開議、午後1時49分
散会
委員長 伊藤 豪（道政）

一般議事

- ① 農地開発部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した道外における農業基盤整備事業等の事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○10月23日（土） 午後4時45分、第3委員会室
において開議、午後4時48分
散会
委員長 伊藤 豪（道政）

一般議事

- ① 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、土地基盤整備と環境整備の促進に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。

○10月25日（月） 午前10時45分、第3委員会室
において開議、午前10時48分
散会
委員長 伊藤 豪（道政）

一般議事

- ① 農地開発部長から、道営工事の上期における発注実績について説明。
- ② 委員長から、土地基盤整備と環境整備の促

進に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

○11月9日（火） 午後1時10分、第3委員会室において開議、午後1時15分散会

委員長 伊藤 豪（道政）

一般議事

- 農地開発部長から、昭和57年農地、農業用施設の被害状況について説明。

水産委員会

○9月28日（火） 午前10時28分、第6委員会室において開議、午前10時34分散会

委員長 新沼 浩（自民）

一般議事

- 水産部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

○10月23日（土） 午後5時47分、第6委員会室において開議、午後5時50分散会

委員長 新沼 浩（自民）

付託案件の審査

- 議案第10号（沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）及び議案第11号（漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を一括議題とし、水産部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対）をもって原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

○10月25日（月） 午前10時37分、第6委員会室において開議、午前10時50分散会

委員長 新沼 浩（自民）

一般議事

- ① 水産部長から、道立水産ふ化場真狩支場の開設について報告。
- ② 水産部長から、57年10月20日から21日にかけての低気圧による災害状況について報告の後、

長岡寅雄委員（社会）から、日高、釧路沖における韓国漁船出沒による刺し網被害の新聞報道に関し、実態の把握、実施した対応措置について、次回委員会に報告するよう要望があった。

○11月5日（金） 午後1時24分、第6委員会室において開議、午後1時40分散会

委員長 新沼 浩（自民）

一般議事

- ① 水産部長から、日高、釧路沖における韓国漁船の操業について報告の後、
長岡寅雄委員（社会）から、この海域での日本漁船の操業状況、韓国漁船の操業秩序確保のための国への働きかけ
委員長から、被害がおきた場合、日本の訴求権に関する水産庁の考え方について質疑及び要望があり、水産部長から答弁。
- ② 委員長から、日ソ漁業交渉に関する中央折衝の実施については、異議なく決定、実施時期等については、委員長に一任することとした。

文教林務委員会

○9月28日（火） 午前11時10分、第10委員会室において開議、午前11時18分散会

委員長 中田 繁夫（社会）

一般議事

- 教育長及び林務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

○10月23日（土） 午後5時48分、第10委員会室
において開議、午後5時54分
散会
委員長 中田 繁夫（社会）

付託案件の審査

- ① 議案第12号（林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、林務部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第14号（財産の取得に関する件）を議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月25日（月） 午前11時14分、第10委員会室
において開議、午前11時17分
散会
委員長 中田 繁夫（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、道外における文教林務事情調査の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 本間喜代人委員（共産）から、来年度の高等学校適正配置計画策定にあたっての基本的考え方及び地元との慎重な調整対処方について
質疑及び要望があり、教育長から答弁。

○11月9日（火） 午後1時23分、第10委員会室
において開議、午後1時52分
散会
委員長 中田 繁夫（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、本日委員会終了後の札幌市内における教育施設調査の実施については、

り、異議なく決定。

- ② 本間喜代人委員（共産）から、(1)道立札幌南陵高校の通学問題に関し、通学バスの台数の確保及び通学バスの時間帯を改善し、授業開始時間等を正常化する考え、(2)新設校の設置に際し、通学条件の確立等、諸条件の整備について
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。

○11月26日（金） 午後1時49分、第10委員会室
において開議、午後2時16分
散会
委員長 中田 繁夫（社会）

一 般 議 事

- ① 教育長から、昭和58年度公立高等学校適正配置計画及び公立特殊教育諸学校配置計画について説明の後、
熊谷克治委員（社会）から、私立高校の定員増の考え方、私学経営のための間口増のあり方、教育費負担における公私格差の解消策及び私学助成に対する取り組みについて
質疑及び意見があり、学事課長から答弁。
- ② 熊谷克治委員（社会）から、教科書問題に関し、道教委の見解による学校に対する指導方法の検討状況、指導内容における教育現場の自主性・創造性の尊重方について
質疑及び要望があり、教育長から答弁。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

- 9月28日（火） 午後1時50分、第1委員会室
において開議、午後2時散会
委員長 吉田 政一（自民）
- ① 開発調整部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
 - ② 委員長から、さきに実施した他府県における開発事情調査並びに昭和58年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
 - ③ 開発調整部長から、昭和58年度北海道開発関係予算要求の概要について説明。

石炭対策特別委員会

- 9月28日（火） 午後1時25分、第11委員会室
において開議、午後1時37分
散会
委員長 宇川 源吉（自民）
- ① 委員長から、さきに実施した夕張新炭鉱対策に関し、衆議院石炭特別委員会等の傍聴及び中央折衝、夕張新炭鉱の存続及び対策に関する中央折衝、夕張新炭鉱対策中央大会出席及び中央折衝の概要について報告書により4件報告、異議なく了承。
 - ② 商工観光部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
 - ③ 商工観光部長から、夕張新炭鉱に関するその後の経過について報告。
 - ④ 湯田倉治委員（道政）から、夕張新炭鉱の労務債完済に対する政府への働きかけについて要望があった。

- 10月23日（土） 午後6時25分、第11委員会室
において開議、午後6時45分
散会、委員長事故のため
副委員長 長岡寅雄（社会）
- ① 副委員長から、北炭夕張新炭鉱対策に関する要望意見案について、配付の案文により発

議することをはかり、異議なく決定。

- ② 副委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ③ 商工観光部長及び労働部長から、夕張新炭鉱に関するその後の経過について報告の後、藤井虎雄委員（社会）から、労務債について、労使協定締結の有無と内容、早期再建及び新会社設立に対する道の姿勢について質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

- 11月9日（火） 午後2時32分、第11委員会室
において開議、午後3時5分
散会
委員長 宇川 源吉（自民）
- ① 委員長から、さきに実施した北炭夕張新炭鉱対策に関する中央折衝並びに三井石炭鉱業株式会社砂川鉱業所の災害に係わる合同葬参列の概要について報告書により報告、異議なく了承。
 - ② 商工観光部長から、三井石炭鉱業株式会社砂川鉱業所の災害について報告。
 - ③ 労働部長から、北炭夕張新炭鉱問題に係わる離職者対策について報告。
 - ④ 藤井虎雄委員（社会）から、(1)石炭鉱業審議会に知事から提起する問題点、(2)夕張新炭鉱の更生計画に関し、進捗状況、更生計画と新会社設立との係わり、国に対する働きかけの姿勢、(3)各炭鉱の問題点把握と対策をまとめる考えについて質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

北方領土対策特別委員会

- 9月28日（火） 午後1時49分、第4委員会室
において開議、午後1時56分
散会
委員長 小沢 栄吉（自民）
- ① 委員長から、さきに実施した「北方領土返還要求のつどい」出席及び他府県議会に対す

る決議要請等の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 領対本部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 領対本部長から、参議院の沖縄及び北方問題に関する特別委員会の道内視察日程について説明。

○10月23日（土） 午後6時17分、第3委員会室
において開議、午後6時21分
散会
委員長 小沢 栄吉（自民）

副委員長の互選

- ① 委員長から、米村邦敏委員（社会）の逝去に伴い、舟山広治委員（社会）が補充選任された旨を報告。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、青山章委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって、小田 原要四蔵委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 委員長から、小田原要四蔵委員（社会）の理事辞任に伴う理事の選任については、異議なく舟山広治委員（社会）を選任。
- ④ 委員長から、議席については、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

公害対策特別委員会

○9月28日（火） 午後2時2分、第2委員会室
において開議、午後2時43分
散会
委員長 高木 繁光（自民）

- ① 生活環境部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 生活環境部長から、沙流川総合開発事業に係る環境影響評価の実施状況について報告。
- ③ 生活環境部長から、水質汚濁防止法に基づく改善命令の発動について報告の後、

関根建二委員（社会）から、立入り検査の強化方策、55年9月の改善命令と今回の事件との関連、会社の責任者も排水・操業停止等の行政措置と併せ罰するなど厳しい処分をする考え、公害防止基金の貸付枠の拡充及び補

助制度新設の考えについて

質疑及び意見があり生活環境部長から答弁。

○10月23日（土） 午後6時5分、第2委員会室
において開議、午後6時9分
散会

委員長 高木 繁光（自民）

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすることを はかり、異議なく決定。
- ② 生活環境部長から、環境影響評価の実施状況について報告。

予算特別委員会

○10月18日（月） 午後4時48分、第1委員会室
において開議、午後5時2分
散会
委員長 小笠原 孝（自民）

正副委員長の互選

- ① 小沢栄吉臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法については、関根建二委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって小笠原孝委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、青山章委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって榎林巖委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営方法等について協議のため午後4時52分休憩、午後4時58分再開、休憩中協議の結果、付託案件に対する審査の方法について、2分科会を設置して質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は本委員会において行うことを はかり、異議なく決定。

- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員（15人）

小田原要四蔵（社会）	櫻林 巖（社会）
青山 章（自民）	木下 一見（道政）
土屋 良三（自民）	吉川 貴盛（自民）
長岡 寅雄（社会）	柳谷 正一（公明）
石崎喜太郎（自民）	佐藤 静雄（自民）
小野 秀夫（道政）	新沼 浩（自民）
笹浪 幸男（自民）	鈴木 誠二（社会）
若狭 靖（自民）	

○第2分科委員（15人）

佐々木行雄（自民）	高橋 康之（自民）
橋 浪蔵（道政）	松本 勇（自民）
関根 建二（社会）	伊藤 武一（公明）
輪島 幸雄（社会）	渋谷 澄夫（社会）
岩田 徳弥（自民）	佐々木利昭（自民）
中崎 昭一（自民）	小沢 栄吉（自民）
熊谷 克治（社会）	本間喜代人（共産）
吉田 政一（自民）	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法について一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 議席について、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑨ 本委員会の運営について、正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することについてはかり、異議なく決定。

第1分科会

○10月18日（土） 午後5時5分、第1委員会室において開議、午後5時15分

散会

第1分科委員長

青山 章（自民）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に青山章委員（自民）、分科副委員長に長岡寅雄委員（社会）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選びその協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、土屋良三委員（自民）、小田原要四蔵委員（社会）、木下一見委員（道政）、柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 分科委員外委員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席についてはかり、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○10月19日（火） 午後1時9分、第1委員会室において開議、午後5時16分散会

第1分科委員長

青山 章（自民）

- ① 公安委員会所管に対する質疑に入り、小田原 要四蔵委員（社会）から、

犯罪捜査に関し、道内の犯罪情勢に対する認識、主要な未解決事件の状況、強盗事件等の検挙率の低下原因と経験年数別の警察官の配置状況、経験豊かな職員を登用する必要性、刑事警察強化に対する基本的な姿勢等について

鈴木 誠二委員（社会）から、

交通取り締りに関し、札幌市内で発生した盗難車の逃走時における死亡事故の概要、盗難車追跡の方法と留意点、犯罪捜査における人命尊重に対する見解、車両管理に対する指導の徹底等車両盗難事故の防止対策について質疑、意見及び要望があり、警察本部長、警務部長、刑事部長、警ら部長、防犯部長及び交通部長から答弁があつて公安委員会及び企業局所管に対する質疑を終結。

② 民生部所管に対する質疑に入り、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

福祉法人に対する補助に関し、養護老人ホーム敬心園へ高率の建設費補助をする理由、道立静和園の廃止理由

鈴木 誠二委員（社会）から、

(1) 言語障害児対策に関し、療育体制の現状と道の施策の内容、早期発見・早期治療の重要性と専門職員の確保策、関係団体への助成強化の考え

(2) 福祉灯油に関し、道の貸付金の償還実績、低所得者に対し燃料費を助成する考え等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があって民生部所管に対する質疑を終結。

○10月20日（水） 午前10時36分、第1委員会室
において開議、午後3時51分
散会

第1分科委員長

青山 章（自民）

○ 衛生部所管に対する質疑に入り、

保格 博夫委員（社会）から、

有害物質対策に関し、シロアリ駆除剤クロルデンの毒性、法的規制の有無、道内におけるクロルデンの使用実態と健康被害の事例、業者に対する使用方法等についての指導の徹底の必要性、包装用フィルムのDOAの発ガン性に対する見解、道内における使用実態と包装資材の点検及び業界に対する行政指導の考え等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。

○10月21日（木） 午後4時24分、第1委員会室
において開議、午後5時7分
散会

第1分科委員長

青山 章（自民）

○ 衛生部所管に対する質疑を続行、

柳谷 正一委員（公明）から、

老人保健法制定に関し、循環器検診及びがん検診の実施状況、受診率向上のための計画策定の検討状況、保健事業の実施体制と市町村保健センター等に対する財政援助の考え、

保健婦の地域別配置状況と今後の確保策、保健所の機器整備の状況、健康診査の費用負担のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって衛生部所管に対する質疑を終結。

○10月22日（金） 午前10時14分、第1委員会室
において開議、午後6時28分
散会

第1分科委員長

青山 章（自民）

① 生活環境部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第2分科委員の本分科会への出席及び生活環境部所管に対する発言の申し出について、委員の通告質疑終了後これを許可することををはかり、異議なく決定。

小田原 要四蔵委員（社会）から、

地域食品認証制度に関し、制度の趣旨、認証基準の見直しの必要性、制度の普及状況と今後の周知方法等について

本間 喜代人委員（共産）から、

小樽市東南地域開発計画の環境影響評価に関し、道路の地割れ現象とガス漏出等の事故についての把握状況、当該地域の開発に係る地質調査の十分性と環境影響評価条例に基づく審査との関連、地盤変異の原因究明に対する取り組みと今後の対策等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって生活環境部所管に対する質疑を終結。

② 開発調整部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、

(1) 研究学園都市の誘致に関し、国の研究学園都市構想と他府県の誘致運動についての把握状況、道の誘致に対する基本的な考え方及び文部省の大学新設抑制方針に対する受けとめ方、寒地研究所、国際学部等を取り入れた構想の再検討の必要性

(2) 青少年科学館に関し、道立の青少年科学館の建設に対する見解及び早期建設方

(3) 公共事業の発注に関し、公共事業の執行状況、国の景気対策予算に係る事業の早期発注の必要性等について

岡本 栄太郎委員（社会）から、

- (1) 道発展計画に関し、苫東第2段階計画の反省点と次期段階計画策定にあたっての考え方、本道の経済成長率落ち込みの原因、発展計画の点検における経済成長率の分析と財政依存型からの脱却の方途
- (2) 滝里ダム建設計画に関し、計画の進捗状況、補償等に対する基本方針、ダム建設に伴う気象関係のアセスメントの必要性
- (3) 国鉄地方交通線の廃止案に関し、分割・民営論に対する受けとめ方と今後の取り組み姿勢、道内地方交通線の営業係数等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があって開発調整部所管に対する質疑を終結。

○10月23日（土） 午前10時14分、第1委員会室において開議、午後零時36分閉会

第1分科委員長

青山 章（自民）

① 人事委員会所管に対する質疑に入り、

長岡 寛雄委員（社会）から、

人事委員会の給与勧告に関し、勧告の法的な意味、他府県の勧告の状況、道の勧告の内容、本年の勧告が遅れた理由、公務員の給与改定に関する自治事務次官通達の受けとめ方、民間の賃金等を十分参酌した勧告の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、人事委員長から答弁があり、人事委員会所管に対する質疑を終結。

② 総務部所管に対する質疑に入り、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

(1) 財政問題に関し、国税収入の減収に伴う地方交付税の減額と地方財政に与える影響、財源不足の補てん見通し、地方交付税の支払遅延に対する対応、道税収入の今後の見通し、補助金支出の基本的な考え方、養護老人ホーム敬心園に対する補助の上乗せの理由

(2) 道職員の給与改定に関し、人事委員会の勧告を尊重する考え、本道の生計費の全国比較、道職員と民間事業従事者の賃金との較差に対する見解、地方公務員の給与決定基準に対する見解、地方公務員の給与改定

に関する自治事務次官通達の法的根拠と人事委勧告前にこの種通達が出されたことに対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって総務部所管に対する質疑を終結。

③ 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

④ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

第2分科会

○10月18日（月） 午後5時5分、第2委員会室において開議、午後5時13分散会

第2分科委員長

関根 建二（社会）

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長に関根建二委員（社会）、分科副委員長に高橋康之委員（自民）をそれぞれ選出。

② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議決定した。

③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選びその協議により行うこと、共産についてはオブザーバーの扱いとすることをはかり、異議なく決定。理事には、松本勇委員（自民）、輪島幸雄委員（社会）、橋浪蔵委員（道政）及び伊藤武一委員（公明）をそれぞれ選出。

④ 議席についてはかり、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○10月19日（火） 午後1時7分、第2委員会室において開議、午後4時44分散会

第2分科委員長

関根 建二（社会）

① 水産部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、

漁船海難事故に関し、本道周辺海域における海難事故の発生状況及び原因、機関故障に

よる事故の多発原因と対策、救命胴衣等の改良と普及の必要性、今後の海難防止に対する積極的な取り組み等について
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって水産部所管に対する質疑を終結。

② 農地開発部所管に対する質疑に入り、

渋谷 澄夫委員（社会）から、

農業基盤整備事業に関し、事業の効果と問題点、事業費の増高に伴う受益者負担の増加傾向と軽減策、圃場整備事業の進め方、農用地開発の基本的な考え方等について
質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって農地開発部所管に対する質疑を終結。

③ 林務部所管に対する質疑に入り、

渋谷 澄夫委員（社会）から、

林業政策に関し、最近の造林事業の状況、本道における国有林の位置づけと役割、営林局の支局化と営林署の廃止による国有林経営に対する影響、臨調の行革方針の受けとめ方、本道の沿岸地帯における森林の実情、海岸緑化基本計画の考え方及び計画実施の効果、今後の積極的計画推進策等について
質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって林務部所管に対する質疑を終結。

○10月20日（水） 午前10時30分、第2委員会室
において開議、午後2時6分
散会
第2分科委員長

関根 建二（社会）

○ 土木部所管に対する質疑に入り、

湯本 芳志委員（社会）から、

競争入札の指名停止基準に関し、建設省の指名停止措置要領に比し道の基準が厳しい理由、道の指名停止基準の運用方針、具体的事例における適用の妥当性、指名停止期間の下限を適用している実態と過去の議会における答弁との関連等について

質疑及び意見があり、土木部長から答弁の後、湯本委員（社会）から、競争入札参加者審査委員長である寺田副知事の出席を求める旨発言があり、議事進行の都合により午前11時34分休憩、午後2時5分再開、委員長から副知事の動向を確認の結果、本日不在である旨報告があって散会。

○10月21日（木） 午後4時27分、第2委員会室
において開議、午後5時37分
散会
第2分科委員長

関根 建二（社会）

① 分科委員長から、昨日湯本芳志委員（社会）から出席要求があった寺田副知事が本日出席している旨報告の後、寺田副知事から、不在のため分科会に出席出来なかったことについて陳謝。

② 土木部所管に対する質疑を続行、

湯本 芳志委員（社会）から、

競争入札における指名停止基準の適用に関し、指名停止基準の適用に対する考え方と労働安全衛生法違反業者に対する指名停止期間を下限の1カ月としたことの当否、指名停止期間等についての再検討の目途等について

川崎 守委員（共産）から、

旧釧路川水系における炭鉱の選炭のズリ流出事故に関し、事故内容の把握状況、事故原因と今後の復旧対策、原状回復命令の措置状況等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって土木部所管に対する質疑を終結。

○10月22日（金） 午前10時22分、第2委員会室
において開議、午後6時11分
散会
第2分科委員長

関根 建二（社会）

① 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

輪島 幸雄委員（社会）から、

住宅対策に関し、道内の持ち家率と全国レベルとの格差、発展計画における持ち家率に係る目標及び計画の点検状況、本道の住宅の居住水準、防寒改修対象住宅の把握状況、今後の住宅建設及び増改築の推進策等について
熊谷 克治委員（社会）から、

公共工事の入札に関し、入札制度検討委員会の設置の経緯と入札制度の改善内容、道立戸井高校屋体増築工事に係る談合に関する新聞報道と事実経過の把握状況、道の措置内容、落札を白紙撤回した理由、落札業者の応札辞退についての事実関係、今後の業界に対

する指導の考え方、自主調整行為と談合との区分についての判断基準、工事単価・歩掛かり表及び道の年間の発注工事内容を公表する考え等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁の後、分科委員長から小田原要四蔵委員（社会）の質疑通告取り下げについて報告があり、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

② 労働部所管に対する質疑に入り、

輪島 幸雄委員（社会）から、

初売りに関し、デパート・商店等の従業員の労働福祉の見地から初売日を繰り下げることに対する見解、道の関係方面への具体的な働きかけの状況、労働基準監督署及び関係団体の本問題についての反応、関係方面への積極的な働きかけと世論喚起のための努力方等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁の後、分科委員長から吉田英治委員（社会）の質疑通告の取り下げについて報告があって、労働部所管に対する質疑を終結。

③ 商工観光部所管に対する質疑に入り、

輪島 幸雄委員（社会）から、

- (1) 優良道産品に関し、優良道産品の生産企業に対し資金等の優遇措置をする考え
- (2) テクノポリス構想に関し、函館市が本指定を受けるための条件整備に対する取り組み、研究機能向上のための道の役割及び積極的な支援の必要性、道内の推進体制の充実強化等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁、分科委員長から吉田英治委員（社会）の質疑通告取り下げについて報告の後、引き続き、

渋谷 澄夫委員（社会）から、

- (1) 下川鉱山の休山に関し、道への通知の内容、休山の期間、高レベル放射性廃棄物の試験・投棄を行う計画の有無
- (2) 放射線被曝に関し、原発の作業労働者の被曝線量に対する見解、放射線の人体への影響としきい値の関係についての認識、ブルトニウムの発ガン性と防護策、泊原発に使用する原子炉及び燃料と今後変更の有無、住民の安全性確保と不安解消に対する

考え方

本間 喜代人委員（共産）から、

志村化工伊達工場の閉鎖問題に関し、これまで道がとった措置内容、赤字対策と道が側面的な援助をする考え等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部所管に対する質疑を終結。

④ 農務部所管に対する質疑に入り、

渋谷 澄夫委員（社会）から、

- (1) 肉牛の飼育に関し、白老の和牛の全国和牛能力共進会での成果に対する評価、白老地域における肉牛の飼育頭数と出荷状況、道内の他の地域における肉牛の飼育指導に対する取り組み方
- (2) 花卉の生産に関し、花の輸入状況、本道における花卉類の生産状況、花卉園芸の団地指定に対する見解
- (3) 水稻の作況に関し、不稔の発生状況と地域別・品種別格差、救済措置の内容と農家の要望の受けとめ方等について

川崎 守委員（共産）から、

飼料米に関し、飼料米の試験研究に対する取り組み状況、民間農家の品種改良に対する評価と水田の減反対策としての位置づけに対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって農務部所管に対する質疑を終結。

○10月23日（土） 午前10時48分、第2委員会室において開議、午前11時32分閉会

第2分科委員長

関根 建二（社会）

① 教育委員会所管に対する質疑に入り、

渋谷 澄夫委員（社会）から、

- (1) 高校生の国体等への参加に関し、出欠の取り扱いの状況と道教委の指導の内容、原則として出席の扱いとすることに対する見解
- (2) 小・中・高校生の非行問題に関し、児童生徒の覚せい剤事犯及び車の事故の実態と指導方針等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって教育委員会所管に対する質疑を終結。

- ② 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。
- ③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

○10月23日（土） 午後3時10分、第1委員会室
において開議、午後5時1分
閉会

委員長 小笠原 孝（自民）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 知事に対する総括質疑に入り、
小田原 要四蔵委員（社会）から、
 - (1) 老人福祉施設整備費補助金に関し、老人福祉に対する基本理念、道立静和園の廃止理由と社会福祉法人敬心会に貸し付けしていることとの関連性、社会福祉法人に対する補助基準と敬心園に対し高率補助した理由
 - (2) 道職員の給与改定に関し、公務員の労働基本権と人事委員会の勧告制度に対する基本的認識、地方公務員の給与改定に関する自治事務次官通達に対する見解、道職員の生活実態に対する認識、地方公務員の給与決定の原則に対する見解、給与勧告の受けとめ方と 職員団体との交渉に臨む基本姿勢、給与改定を見送った場合の消費支出に与える影響等について

質疑、意見及び要望があり、知事、民生部長及び老人福祉課長から答弁があって知事に対する総括質疑を終結。本会議開会のため、午後4時28分休憩、午後4時52分再開。

- ③ 委員長から、各派代表者会議において付託案件に対する意見調整を行った結果、議案第1号については意見の一致をみるに至らなかった旨及び長岡寅雄委員（社会）ほか7人から議案第1号に対する修正案が提出されている旨報告の後、

長岡寅雄委員（社会）から、議案第1号に対する修正案について趣旨説明を行い、質疑並びに討論なしと認め、直ちに採決に入り、議案第1号の修正案を問題とし、起立採決の

結果、起立少数（自民、道政、公明反対）をもってこれを否決。次に、

議案第1号の修正案に係る原案を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、共産反対）をもって原案可決。次に、

議案第1号の修正案に係る部分を除く原案を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案可決の後、長岡寅雄委員（社会）から、議案第1号について少数意見を留保する旨発言、ついで、伊藤武一委員（公明）から、議案第1号について2項目の附帯意見（委員長報告参照）を委員長報告文に挿入されたい旨の動議があり、賛成があって動議成立、起立採決によりこれをはかって起立多数（社会、共産反対）をもって可決。次に、

議案第2号ないし第7号及び第15号を問題とし、異議なく原案可決。付託案件に対する委員長報告については委員長に一任することとした。

- ④ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

企業会計決算特別委員会

○57年7月8日(木) 午後6時5分、第11委員会室において開議、午後6時12分散会
委員長 星野健三(社会)

正副委員長の互選

- ① 星野健三臨時委員長(社会)から、委員長互選の方法については、佐々木利昭委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって星野健三委員(社会)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、吉野之雄委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって古川靖晃委員(自民)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後6時9分休憩、午後6時10分再開。休憩中協議の結果、本委員会の運営に当たっては、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名、計6名の理事を選び、その協議により運営することをはかり、異議なく決定。理事には、佐々木利昭委員(自民)、中川義雄委員(自民)、吉野之雄委員(社会)、輪島幸雄委員(社会)、伊藤豪委員(道政)、浅野俊一委員(公明)をそれぞれ選出。
- ④ 委員会の申し合せ事項(1.質問の方法は、通告の形式によることとし、一括してこれを行うこと。ただし、一問一答の形式により行う場合は、その旨を委員長に申し出ること。2.発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること。3.委員の交代は、原則として認めないこと。4.資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行うこと。)については、異議なく決定。
- ⑤ 委員外議員の発言の取り扱いについて、委員会の決定により、委員の通告質疑終了後に発言を許可すること、書面審査及び資料要求は認めないことに決定。
- ⑥ 本委員会の今後の運営方法等については、理事会において協議、決定することとした。

○7月15日(木) 午後7時23分、第11委員会室において開議、午後7時30分散会

委員長 星野 健三(社会)

- ① 議席については、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ② 審査日程について、配付の日程表のとおりとすることに異議なく決定。
- ③ 報告第61号ないし第67号を一括議題とし、衛生部長、林務部長、住宅都市部長及び公営企業管理者から、各会計決算の概要並びに代表監査委員から各会計決算に対する審査意見について説明。
- ④ 決算審査のため必要な資料については、異議なく配付の項目により要求することに決定。
- ⑤ 付託の報告第61号ないし第67号について、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、企業会計決算に係る現地調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ⑦ 今後の審査日程について、7月19日から24日まで、26日から31日まで、8月4日から7日まで、9日、17日、21日及び23日を書面審査日とすることに決定。
- ⑧ 書面審査室を第11委員会室に設置することを了承。

○8月18日(水) 午前10時27分、第11委員会室において開議、午後3時18分散会

委員長 星野 健三(社会)

- ① 委員長から、7月15日の委員会決定に基づく資料の提出があった旨報告。
- ② 委員長から、さきを実施した企業会計決算に係る現地調査の概要について報告書が提出されている旨報告、異議なくこれを了承。
- ③ 報告第62号(昭和56年度北海道有林野事業会計決算に関する件)を議題とし、林務部所管に対する質疑に入り、
岩崎 守男委員(社会)から、
(1) 林業行政に関し、小学校社会科学習指導

要領から林業部門が削除された実態と教育における林業重視の必要性及びそれに対する見解、教育関係者・国等に対する働きかけの姿勢、北海道林業の歴史的経過、道有林事業の経営規模に係わる今後の方針

(2) 道有林野事業会計に関し、企業会計方式で行っている他府県の状況、道有林事業が企業会計制度になじむか否かの見解と経営改善に対する考え、一般会計への繰出金制度の妥当性及び繰出金の市町村等への交付状況等

(3) 道有林野事業と市町村との係わりに関し、市町村財政の超過負担の現状改善についての見解、過疎山村に対する振興策の取り組み方

(4) 不在地主森林に関し、その実態、市町村等からの不在地主林に係わる要請等の実態及び道・国の対応策、諸問題の早急な実態把握及び対策の必要性

(5) 公有林財産処分と造林事業の契約に関し、随意契約が多い実態とその根拠、道有林野事業における随契に係わる通達の考え方、契約における地元業者の定義、地元業者育成と随契することの妥当性、契約方法を検討する考え、木材販売を随契とする理由と道内木材流通機構未整備の実態と理由、公有林が多い実態と流通機構未整備との関係及び木材供給方法改善による機構整備の可能性、指名競争入札による地元加工業者育成対処の可能性、第3次産業である流通業者と随契を行うことの考え、業者との随契と天下りの関係について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁。午後零時28分休憩、午後1時43分再開。

保格 博夫委員（社会）から、

企業会計決算に関し、経営の実態と見通し、最近の木材価格低落に対する見解、企業債借入計画の状況、借り入れの金利と内容、借入金の償還計画と見通し、57年からの5か年計画終了後の新たな基本計画策定の有無、60年代後半の道有林経営の分析等の見通し、企業債投入に対する償還の可能性、森林面積を560万ヘクタールから62年に21万ヘクタール減とする計画における道

有林の割り当て面積、道有林が面積減とならない見込みの理由、収入のうち土石類等副産物の5か年計画における目標と見通し、造林事業の達成率が見込みより低い理由と問題点、歴史的経過としての模範林と現況における位置づけ及び一般会計への繰り出しの考え方、道有林経営のあり方及び企業会計制度の問題点に対する見解、道有林の構想に対する考え方、補助金が少ない現状とその見通し、企業会計の収益部門と公益部門における調整分担の考え方及び補助金のあり方について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があった、林務部所管に対する質疑を終結。

○8月19日（木） 午前10時18分、第11委員会室において開議、午後4時4分散会

委員長 星野 健三（社会）

○ 報告第64号（昭和56年度北海道電気事業会計決算に関する件）、報告第65号（昭和56年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件）、報告第66号（昭和56年度北海道有料道路事業会計決算に関する件）及び報告第67号（昭和56年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件）を議題とし、企業局所管に対する質疑に入り、

吉野 之雄委員（社会）から、

道営電気事業に関し、公営企業として電気事業を行う意義、道内の総電気総供給量に占める公営電気事業の割合及び電気料金への影響、公営電気事業者の電気料金算定要領の解釈、中小水力発電の開発に対する見解等について

岩崎 守男委員（社会）から、

(1) 工業用水の料金改定に関し、料金引き上げについて通産大臣の承認を要する理由、全国知事会における承認制から届け出制にすることの意見に対する見解

(2) 石狩湾新港の工業用水に関し、石狩湾新港地域の工業用水事業計画の現状、同地域の進出企業数と工業用水の利用状況、今後の工業用水供給計画の進め方及び地下水利用による地盤沈下の懸念等について

保格 博夫委員（社会）から、

有料道路事業に関し、支笏湖畔有料道路の一般道道への移管に対する見解、有料道路の経営に対する検討状況、一般会計からの借入金及び利息の額と返済見通し、道路維持費の追費負担状況、道路の減価償却と資産評価、早期に一般道道とすることに対する努力方等について

輪島 幸雄委員（社会）から、

- (1) 工業団地開発事業に関し、苫東・石狩及び住宅団地の取得面積と売却の状況、苫東の国有地の買収見通し、住宅団地に係る一般会計からの借入金及び金利負担、土地の取得価格と売却価格の見通し
- (2) 企業局職員に関し、技術系職員の格付けと検討する必要性等について

質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者及び企業局長から答弁があって企業局所管に対する質疑を終結。

○ 8月20日（金） 午前10時8分、第11委員会室において開議、午後2時49分散会

委員長 星野 健三（社会）

- 報告第61号（昭和56年度北海道病院事業会計決算に関する件）を議題とし、衛生部所管に対する質疑に入り、

輪島 幸雄委員（社会）から、

道立病院の運営に関し、医師の配置状況と医療法上の定数充足に対する見解、道立病院の設置目的と利用実態、道立病院の経営状況、松前病院の病床利用率と町立移管の理由との関連、苫小牧病院の将来計画、センター病院の病床利用状況、札幌北野病院の病床利用率が低い理由と将来構想、道立病院の患者数の減少傾向に対する分析、江差病院に精神科を設置する考え等について

吉野 之雄委員（社会）から、

道立病院の経営状況に関し、赤字の原因、累積赤字の解消に対する見解、病院事業の公益性と公営企業で行うことの妥当性、一般会計と負担区分に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって衛生部所管に対する質疑を終結。

○ 8月24日（火） 午前10時33分、第11委員会室において開議、午後5時10分散会

委員長 星野 健三（社会）

- 報告第63号（昭和56年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件）を議題とし、住宅都市部所管に対する質疑に入り、

保格 博夫委員（社会）から、

北広島団地開発事業に関し、団地開発事業の当初計画とその後の修正内容、残宅地の面積と平均単価、60年度までの資金計画、借入金の金利負担と土地販売価格への影響、処分単価の予測等について

質疑及び意見があり、住宅都市部長から答弁があって議事進行の都合により、午前11時52分休憩、午後5時9分再開し直ちに散会。

○ 8月25日（水） 午前10時18分、第11委員会室において開議、午後零時4分散会

委員長 星野 健三（社会）

- ① 報告第63号（昭和56年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件）を議題とし、住宅都市部所管に対する質疑を続行、住宅都市部長から、昨日の保格博夫委員（社会）の質問に対する補足答弁の後、

保格 博夫委員（社会）から、

北広島団地開発事業に関し、緑葉公園の整備の完成目途、文化的・福祉的施設の設置に対する見解、駅前タウンセンター整備の見通し、宅地購入資金貸付制度の継続に対する考え方、公団住宅の空き家の状況等について
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって住宅都市部所管に対する質疑を終結。

- ② 委員長から、付託案件に対する意見調整を各派代表者会議において行うことをはかり、異議なく決定。

- ③ 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果について報告の後、報告第61号ないし第67号を一括議題とし、報告第67号は認定議決、報告第61号ないし第66号は意見を付し認定議決とすることについてははかり、異議なく決定。付託案件に対する委員長報告につ

いては、委員長に一任することとした。

- ④ 委員長から、付託案件に対する審査終了の
あいさつがあった。



全国都道府県議会議長会

○10月29日（金） 都道府県会館において役員会を開催。会長（東京都議長）のあいさつ及び第80回定例総会開催地（佐賀県）議長のあいさつに引き続き、協議に入り、まず、欠員中の副会長の選任方法について決定の後、第80回定例総会の提出議案について、各委員長報告のとおり決定し、行政改革の推進に関する決議案ほか1件を役員会提出議案として決定。次に、第80回定例総会の日程及び議事運営について、決定又は了承の後、定例総会議決事項の要望運動方法を決定し、第82回定例総会の開催地については、近畿ブロックとすることとした。次に、昭和58年度本会予算の大綱案及び明年度海外視察について、原案のとおりそれぞれ決定。次に、会長並びに全議事務総長から、昭和57年度地方財政対策、地方財政補正措置に関する中央折衝の経過及び結果について、それぞれ説明。次に、愛知県議長から、都道府県議会議員の叙勲基準引上げ実現の努力方について発言があり、会長から、要望実現のため、関係機関への働きかけ等、各位の協力方について要請があって、閉会した。

○11月10日（水） 佐賀県嬉野町において役員会を開催。会長（東京都議長）及び地元議長のあいさつの後、協議に入り、定例総会の議事順序、日程及び議決事項の処理等について、それぞれ了承して、閉会した。

○11月10日（水） 佐賀県嬉野町において第80回定例総会を開催、地元佐賀県議長、会長（東京都議長）、佐賀県知事及び嬉野町長のあいさつに引き続き、内閣総理大臣のメッセージ、自治大臣代理の祝辞及び衆参両院議長の祝電披露の後、自治功労者の表彰を行い、次に、国民体育大会開催県議長のあいさつの後、議事に入り、副会長の補欠選任について、和歌山県議長を選任決定した。次に、昭和56年度会務及び会計報

告、会計監査報告を承認し、ついで、役員会提出の「行政改革推進に関する決議」、「地方財政の確立に関する決議」を原案のとおり決定の後、各委員長から、委員会における提出議案の審議経過と結果について報告の後、いずれも原案のとおり決定し、第82回定例総会開催地を近畿ブロックに決定して、閉会した。

地方制度委員会関係

- 1 行政改革の推進について
- 2 地方財政の充実強化について

社会文教委員会関係

- 1 高齢化社会に対応する諸施策の推進について
- 2 障害者対策の充実について
- 3 麻薬・覚せい剤対策の強化について
- 4 長距離自然歩道整備事業の促進について
- 5 高等学校の新增設に対する国庫補助制度の拡充強化について
- 6 社会教育の充実について

商工労働委員会関係

- 1 中小企業の経営安定対策について
- 2 エネルギー対策の推進について

建設運輸委員会関係

- 1 住宅対策の推進について
- 2 道路整備の促進について
- 3 下水道整備の促進について
- 4 治山治水事業の推進について
- 5 地域振興対策の推進について
- 6 水資源対策の推進について
- 7 鉄道輸送網の整備と輸送力の強化について
- 8 地方空港の整備促進について
- 9 港湾整備事業の促進について

農林水産委員会関係

- 1 農業基本政策の強化について
- 2 水田利用再編対策の充実強化について
- 3 農畜水産物の輸入自由化及び枠拡大反対について
- 4 林業の振興と経営安定について
- 5 松くい虫防除対策の拡充強化について
- 6 漁業振興対策について

都道府県議会議員共済会

○10月29日（金） 全議会議室において理事会を開催。会長（東京都議長）のあいさつに引き続き、協議に入り、全議事務総長から、昭和58年度事業計画及び予算案について説明があり、異議なくこれを原案のとおり了承。ついで、議員共済会定款の一部変更（標準報酬月額引上げ・用語の改正）（案）について、原案のとおり決定し、閉会した。

○11月10日（水） 佐賀県嬉野町において代議員会を開催。会長（東京都議長）のあいさつの後、議事に入り、まず、会期を本日限りとし、次いで、会議録署名者を決定の後、全議事務総長から、都道府県議会議員共済会定款の一部変更（案）についての主旨説明及び過去の要望運動の経緯等を説明、これを語り、原案のとおり決定し、直ちに自治大臣へ認可申請することとし、閉会した。

10都道府県議会議長会（第125回）

○11月15日（月） 大阪市において開催。地元大阪府議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入る。京都府議長から、前回議決事項の処理報告の後、次の事項について協議、決定した。次いで、次回開催地を広島県に決定の後、全議事務総長から、昭和57年度補正予算の編成等について説明があり、閉会した。

- 1 総合的な治水対策の推進について
- 2 市町村社会福祉協議会の法制化について
- 3 モーター類似施設の規制について
- 4 老人保健法における保健事業の実施体制の整備について
- 5 第9次道路整備5カ年計画の策定について
- 6 自動車交通総量削減のための交通流・量対策推進について

10 月 の メ モ

- 4 日 ○西ドイツのコール新首相は新しい保守中道連立内閣を組閣。
- 7 日 ○全通信労組が国を相手に郵便局内の組合掲示板の撤去をめぐり、原状回復などを求めた上告審で、最高裁は「法律上、組合側に使用の権利はない」と、上告を棄却。
- 8 日 ○ポーランド国会は、自主管理労組「連帯」を非合法化する新労組法案を可決。
- 9 日 ○北炭夕張新炭鉱が閉山。
- 12 日 ○鈴木首相は党総裁選に不出馬の意向を表明。
- 16 日 ○中国政府は初の潜水艦発射弾道弾の発射実験に成功したと発表。
○北海道・ソ連極東地区親善スポーツ大会を、3 年ぶりに開会。
- 17 日 ○札幌と網走で、平年より13日早い初雪。
- 18 日 ○航空自衛隊千歳基地を使った初の日米共同訓練が4 日間の日程で始まる。
- 19 日 ○「57年版犯罪白書」によると、56年の刑法犯発生件数は戦後第3 位。少年非行の検挙・補導数は戦後最高を記録。
- 22 日 ○道人事委員会は道職員給与の平均4.53%アップを勧告。国の人勧凍結で、知事も「慎重な扱い」を表明。
- 23 日 ○自民党の新総裁選出は話し合いが決裂。河本経企庁長官、中曽根行管庁長官、中川科技庁長官、安倍通産相の4 候補が予備選に突入。
○第3 回定例道議会閉会。
- 26 日 ○東京外国為替市場の円相場は、一時 277 円15銭まで下落、約5 年5 ヶ月ぶりの円安。
○日本人の栄養計算のデータとなる「日本食品標準成分表」が19年ぶりに全面改定。ほぼ全食品にわたりカロリー数が2 %高。
- 28 日 ○農水省の発表によると57年産米の予想収穫量は3 年続きの不作。本道は、昨年の22%増と3 年ぶりの豊作。
- 30 日 ○プロ野球日本シリーズは、西武が4 勝2 敗で中日を破り初優勝。

11 月 の メ モ

- 3 日 ○三井石炭鉱業砂川鉱業所の第1 坑でガス爆発事故、5 人が死亡。
○世界野生生物基金総裁のエジンバラ公が初来道、ウトナイ湖のバードサンクチュアリなどを視察。
- 8 日 ○旭川市長に現職の坂東徹氏が当選。
- 10 日 ○ソ連のブレジネフ共産党書記長が逝去。
- 11 日 ○宇宙連絡船「コロンビア」の第5 回打ち上げ成功。
- 12 日 ○ポーランドの自主管理労組「連帯」のワレサ議長釈放。
○ソ連共産党中央委は、書記長にユーリ・ウラジミロビッチ・アンドロポフ政治局員兼書記を選出。
- 15 日 ○上越新幹線（大宮～新潟）が開業。
- 16 日 ○高校用歴史教科書の記述是正策を検討していた教科書検定審が、小川文相に検定のあり方を答申。
- 19 日 ○第9 回アジア競技大会はニュージーランドで史上最多の国、選手が参加して開幕。
- 21 日 ○厚生省に新しい年金制度の試案をまとめた。
- 22 日 ○国鉄は59年度末までに廃止予定の第2 次廃止対象ローカル線として道内の14線を含む33線、延べ2,171kmを選定。
- 24 日 ○自民党の総裁予備選で中曽根康弘氏が過半数を超えて圧勝。本選挙を見送り、臨時党大会で中曽根氏を第11代総裁に正式決定。（25日）
- 26 日 ○衆参両院本会議での首相指名の投票で過半数を獲得、第71代首相に就任した中曽根新首相は組閣を完了、新政権が発足。
○道教委は58年度公立高校適正配置計画を発表。増設規模は過去最大。

北海道議会時報 第34巻第7号

昭和58年3月5日発行

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第34巻第7号(昭和57年第3回定例道議会)